

目 次

1.ゴム印データの作成方法	1
I.ゴム印作成枠の出し方	1
II.データサンプルの取り出し方	3
III.入力編集作業	4
IV.テキスト文字の入力方法	5
V.日本語入力の方法	8
VI.文字のレイアウト方法	8
VII.文字の変形	14
VIII.書体の変更方法	15
平成明朝体 w3 POINTサイズ表	16
IX.レイアウトの詳細説明	17
2.JISコードでの入力方法	18
3.データ印の作成方法	21
I.サンプルデータ印の出しかた	21
II.テキスト入力・編集の仕方	22
III.データ印の作成 No.2	25
4.枠付け印の作成方法	27
5.風雅印の作成方法	33
I.雅印作成枠の出しかた	33
II.データサンプルの取り出しかた	34

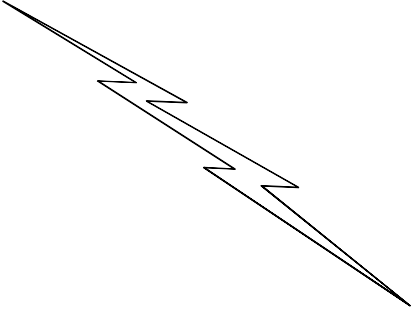
(次頁に続く)

6. レーザー機への出力方法	35
レーザー機への出力(印刷)設定	36
7. Versa Laser の電源入力	38
作業テーブルの昇降	39
部材のセッテイン、彫刻印具	41
8. スキャナーの使い方	42
I. データの取り込方法	42
II. データの保存方法	45
III. データの修正と終了の方法	47
IV. 取り込んだデータの入力と保存	48

VersaLaser加工マニュアル

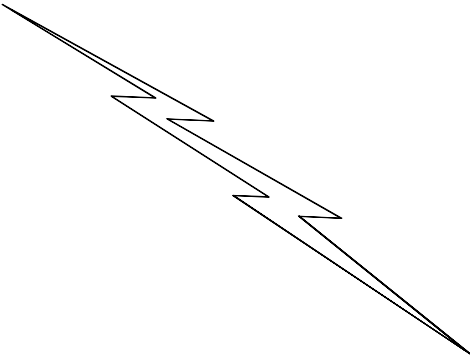


AceDraw&PhotoshopLE印章データ編



VL-200

VL-300



2004/8 改訂

 UNIVERSAL ENGRAVING SYSTEMS
株式会社 ユー・イー・エス

1. ゴム印データの作成方法

■ ゴム印作成枠の出しかた

1. **描画** クリック



2. **クリップアート・マネージャ** クリック



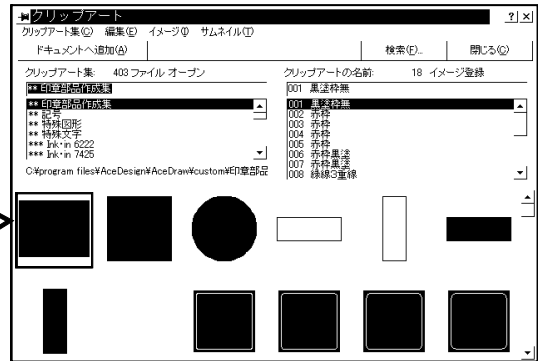
3. **** 印章作成部品集** クリック



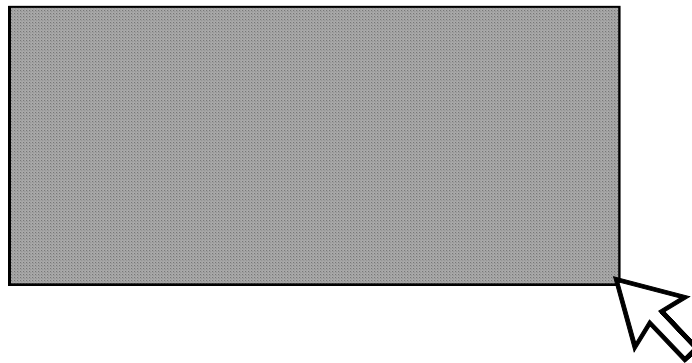
4. **001 黒塗り枠無し** クリック



5. **ドキュメントへ追加** クリック



6. 画面の中にドラッグして適当な大きさに黒塗り枠を出す。



*この黒塗り枠の上で、白字で文字を作成します。

黒塗り枠の大きさが、ゴム印作成の全体の大きさです。

レーザー機により黒い部分を彫り、白い文字の所を凸にして残し、印字面になります。

クリップアートの追加

クリップアート・マネージャは、1つ、または複数のオブジェクトによって構成されているイラストを分類別に管理したイラスト集です。

クリップアートを追加するには：

1. [描画] / [クリップアート・マネージャ] を選択してください。[クリップアート] ダイアログボックスが現れます。
2. [クリップアート集] リストボックスから、選択したいクリップアートが含まれているクリップアート集を選択してください。
3. [クリップアートの名前] リストボックス、またはサムネイルからクリップアートを追加してください。
4. [ドキュメントへ追加] ボタンをクリックしてください。ポインタがオブジェクト追加カーソルに変わります。
5. 任意の場所へクリック、またはドラッグしてください。選択したクリップアートが追加されます。



Ctrl + M



クリップアートの保存

自分で作成したオブジェクトを選択したクリップアート集にクリップアートとして保存することができます。クリップアート集に保存することで、いつでも作成したオブジェクトを呼び出すことができます。


作成したオブジェクトをクリップアート集に保存するには：

1. クリップアート集に保存したいオブジェクトを選択してください。
2. [描画] / [クリップアート・マネージャ] を選択してください。[クリップアート] ダイアログボックスが現れます。
3. オブジェクトを保存するクリップアート集を [クリップアート集] リストボックスから選択してください。
4. [クリップアート集へ保存] ボタンをクリックしてください。[クリップアートの保存] ダイアログボックスが現れます。
5. [クリップアートの名前] 入力ボックスに、保存するオブジェクトの名前を入力してください。
6. [キーワード] 入力ボックスに、キーワードを入力してください。複数のキーワードを入力する場合は、キーワードとキーワードの間に半角スペースを入力してください。
7. [OK] ボタンをクリックしてください。選択したクリップアート集に、オブジェクトが保存されます。

キーワードは入力しなくても構いません。



Ⅱ. データサンプルの取り出し方


1. **描画** クリック
↓
2. **クリップアートマネジャー** クリック
例 ↓
3. **トロダット4913** (クリップアート集の中にあります) クリック
例 ↓
4. **住所印 ユーイーエス** (クリップアートの名前の中にあります) クリック
↓
5. **ドキュメントへの追加** クリック
6. 黒塗枠の上で、 マークをデータを出したい位置の左上でクリックする。


*注意 ドラッグして出すと寸法が変化します。



*住所印の場合

ゴム印の大きさに赤枠が入っています。
この赤枠は、ゴムをレーザーにより半分ほどの深さにカットします。

7. データーが画面上に出たら、ツールボックスの  表示ツールをクリックして、

 **ズームインツール** を選びます。

8. サンプル全体を囲むようにドラッグして画面を拡大させます。

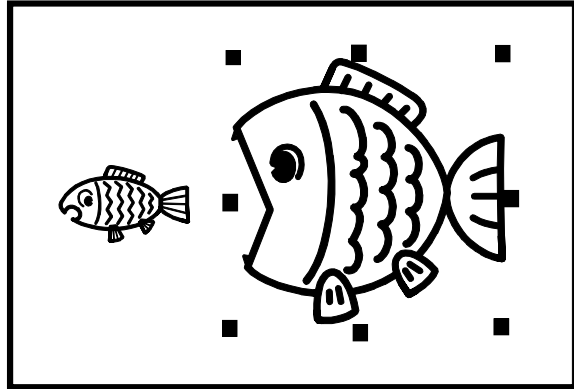


Ⅲ. 入力編集作業

- 1.画面に出ているサンプルの上でクリックして、オブジェクトハンドルを付ける。

オブジェクトを選びましょう。

1.ポインタを「大きな魚」
の上において左マウスボタン
をクリックしてください。
「大きな魚」の回りに8つの
小さな四角形と、中心に+印
が現れます。これをオブジェ
クトハンドルといいます。
この状態にあるとき、オブ
ジェクトが選択されていること
になります。



2. **図形操作** クリック メニューバーの中にあります。



3. **グループ解除** クリック

これでデーターを構成する各テキスト、図形はグループ解除され、自由に変更ができるようになります。

- 4.入れ替えたいテキストの字の上でクリックして、オブジェクトハンドルを付ける。

東京都田無市～ をクリックしてください。

- 5.ツールボックスの **A** テキスト入力ツールをクリック

テキストの入力／編集の画面が出ます。

- 6.文字を入力します。

住所を

例

東京都中野区野方3-14 と入力します。

置換 を押します。

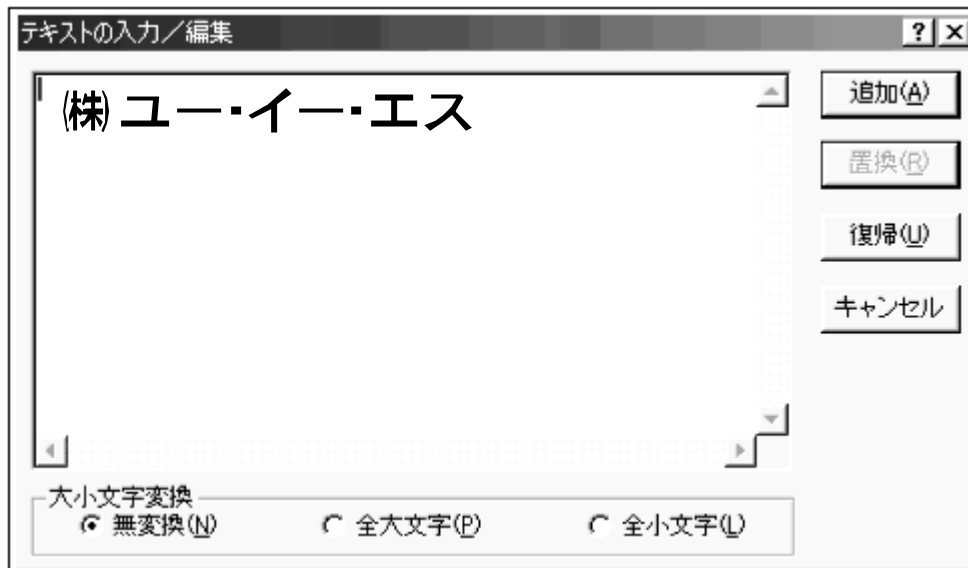
ここで次ページより日本語入力について説明します。

IV. テキスト文字の入力方法

[Aテキスト(T)...]テキストオブジェクトを入力、編集するためのダイアログボックスを表示します。

[Aテキスト(T)...]コマンドを選択すると、テキスト入力／編集ダイアログボックスが現れます。

テキストの入力／編集の画面



テキストツール A

- テキスト入力ボックスは、キーボードでテキストを入力します。
- [追加(A)]ボタンは、テキスト入力ボックスで入力した文字列を作業領域にテキストオブジェクトとして追加します。
- [置換(R)]ボタンは、作業領域であらかじめ選択されているテキストオブジェクトをテキスト入力力で再編集して、新しい文字列として置き換えます。
- [復帰(U)]ボタンは、テキスト入力ボックスで文字配列を編集集中に、元の文字配列に戻します。

資料:ローマ字入力は次の表に従って行うことができます。

あ	い	う	え	お
a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ
ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	ず	せ	そ
sa	si (shi)	su	se	so
た	ち	つ	て	と
ta	ti (chi)	tu (tsu)	te	to
な	に	ぬ	ね	の
na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ
ha	hi	hu (fu)	he	ho
ま	み	む	め	も
ma	mi	mu	me	mo

や	い	ゆ	いえ	よ
ya	yi	yu	ye	yo
ら	り	る	れ	ろ
ra	ri	ru	re	ro
わ	うい	う	うえ	を
wa	wi	wu	we	wo
が	ぎ	ぐ	げ	ご
ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
za	zi (ji)	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど
da	di	du	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ
ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
pa	pi	pu	pe	po

きゃ	きい	きゆ	きえ	きよ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しい	しゆ	しえ	しよ
sha (sha)	shi	shu (shu)	she (she)	sho (sho)
ちや	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ
tya (cha)	tyi	tyu (chu)	tye (che)	tyo (cho)
にや	にい	にゆ	にえ	によ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
みや	みい	みゆ	みえ	みよ
mya	myi	myu	mye	myo
りや	りい	りゆ	りえ	りよ
rya	ryi	ryu	rye	ryo

ぎゃ	ぎい	ぎゆ	ぎえ	ぎよ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じい	じゆ	じえ	じよ
zya (ja)	zyi	zyu (ju)	zye (je)	zyo (jo)
ぢや	ぢい	ぢゆ	ぢえ	ぢよ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でや	でい	でゆ	でえ	でよ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びや	びい	びゆ	びえ	びよ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴや	ぴい	ぴゆ	ぴえ	ぴよ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
ふあ	ふい	ふ	ふえ	ふお
fa	fi	fu	fe	fo

IBMタイプのキーボード

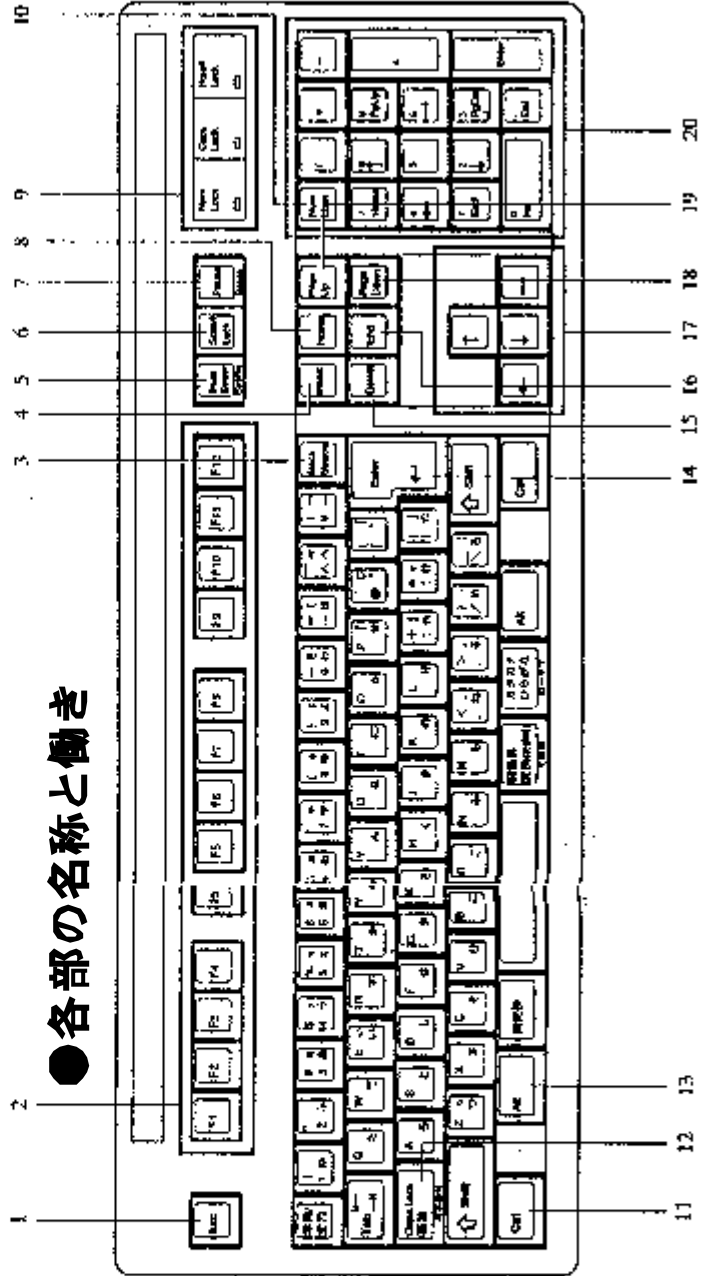
- 1 Esc(エスケープ)キー
ソフトウェアの実行中の動作を終了します。
- 2 F(ファンクション)キー
アプリケーションごとにいろいろな役割が割り当てられています。
- 3 Back Space(バックスペース)キー
カーソルを左へ移動し、文字を削除するときに押します。
- 4 Insert(インサート)キー
文字を挿入するときに押します。
- 5 Print Screen(プリントスクリーン)キー
画面のハードコピーを取るときに押します。
- 6 Scroll Lock(スクロールロック)キー
画面のスクロールを禁止するときに押します。
- 7 Pause(ポーズ)キー
ハードコピーの出力などの操作を、一時的に止めるときに押します。
- 8 Home(ホーム)キー
カーソルを行の最初や文書の最初に、一度に移動するときに押します。
- 9 インジケータ
[NumLock]キー、[Shift]+[Caps Lock] 英数キー、[ScrollLock]キーを押すと点灯し、各キーがロックする状態になります。再び押すと消え、各キーの機能が解除されます。

- 10 Num Lock(ナンバロック)キー
テンキー上の下の段に刻印された機能を無効にするときに押します。
- 11 Ctrl(コントロール)キー
他のキーと組み合わせで使います。アプリケーションごとに機能が異なります。
- 12 Caps Lock(キャプスロック)英数キー
大文字を入力するときに押します。
[Shift]+[Caps Lock]英数キーで機能設定、解除ができます。
- 13 Alt(オルト)キー
他のキーと組み合わせで使います。アプリケーションごとに機能が異なります。
- 14 Enter(エンター)キー
リターンキーまたは改行キーとも呼ばれます。
文を改行したり、コマンドを実行したりします。
- 15 Delete(デリート)キー

キーボード/各キーの働き

- 16 Delete(デリート)キー
文字を削除するときに押します。また、[Ctrl]キーと[Alt]キーと同時には押し、本パソコンをリセットできます。
- 16 End(エンド)キー
カーソルを移動します。
- 17 Page Down(ページダウン)キー
次の画面に切り替えるときに押します。
- 19 Page Up(ページアップ)キー
前の画面に切り替えるときに押します。
- 20 テンキー
[Num Lock]キーを押した状態で、数字を入力します。

●各部の名称と働き



V.日本語入力の方法

IBM

IBM互換機の場合

A.ローマ字キーボード入力方法

キーボードとマウスの操作になります。

1.日本語入力モードのON

Alt を押しながら **半角/全角** キを押します。

右下に **連全あ?** の表示が出ます。

ローマ字入力の場合は、ローマ字でキーボードを打って日本語に変換します。

2. **とうきょう** とキー入力した場合



東京

漢字に変換するには

スペースキーを押す

又は

**前候補
変換(次候補)**

を押す。

*同じような変換ができます。

東京 と変換されます。

F7 ファンクションキーの7を押す。

↓ **トウキョウ** と全角カナ

F8 押す

↓ トウキョウ 半角カナ

F9 を押す

↓ toukyou 全角の英文字。

F8 を押す

toukyou 半角の英文字に変わります。

3.英数字を大文字で出したい場合は、

Shift キーを押しながら、文字を打ってください。

*入力のち **F9** を押す。

英数字を大数字でいつも出したい時は、

Shift + **Caps Lock**
英数

*右上の **Caps Lock** ランプがつきます。

**Caps
Lock**

4. **Num Lock** について

Num Lockは、キーボードの数字キー(テンキー)を入力出きるようにするキーです。

いつも入れておいてください。

右上に **Num Lock** ランプがついている状態。

**Num
Lock**

B.ひらがなキーボード入力方法

5.ひらがな入力法

Ctrl + **↑Shiht** + **カタカナ
ひらがな**
を押しながら を押す

右下 **連全あ?** 緑のランプがつきます


連全あ?

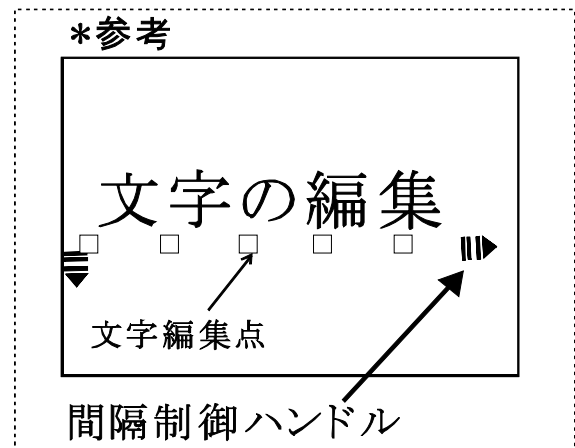
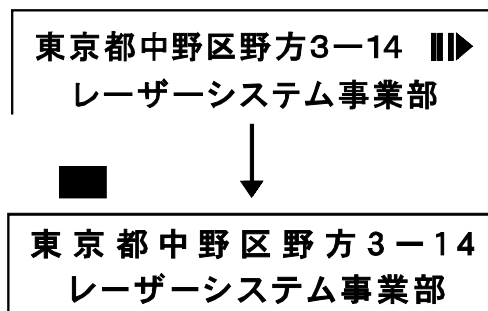
VI. 文字のレイアウト方法



東京都中野区野方3-14
レーザーシステム事業部


データサンプルの住所より、文字数が少ない為
右側があいています。

同一のスペース文字を配置したい場合、
文字編集を行います。

- 1.住所の文字のオブジェクトを選択します。
- 2.ツールボックスの  文字編集ツールをクリックします。



文字編集点は、テキスト ベースライン上に置かれます。また、
とは、間隔制御ハンドルといいます。この間隔制御ハンドル
で文字の間隔を一定に広げたり狭くしたりすることができます。

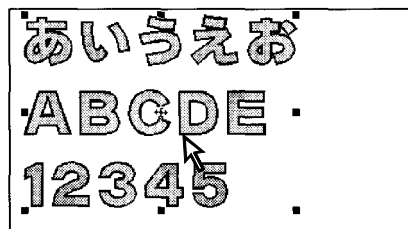
- 3.右側の間隔制御ハンドルの所にマウスポインタを持っていきます。
左マウスボタンをドラッグして、希望する位置に来ましたら、左
マウスボタンを離してください。
- 4.文字編集を終了する時は、 文字編集ツールをクリックします。
(*他の方法:右マウスボタンをクリックする。)

文字間調整

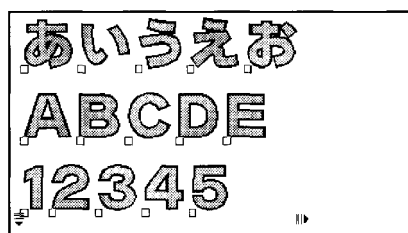
フリーフォームオブジェクトを選択肢、「フリーフォームオ/文字編集」コマンドを実行すると、オブジェクトのフリーフォーム編集を行なうことができますが、テキストを選択した場合は、テキストの文字間隔やサイズ、色の設定を行なうことができます。

テキストの文字編集を行うには：

1. テキストを選択してください。



2. [描画] / [フリーフォーム/文字編集] を選択してください。テキストが文字編集できる状態になります。



Ctrl + E


マウスの右クリック

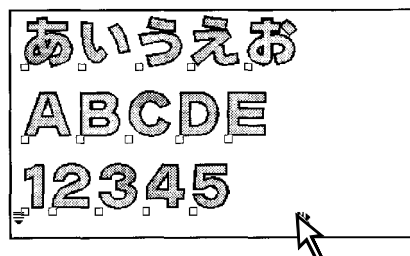


ショートカット

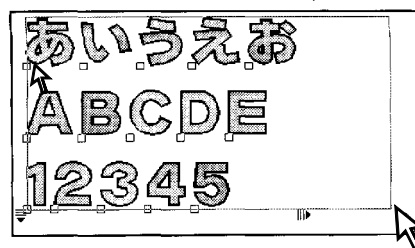
文字編集時に、間隔制御ハンドル  を使用して、文字の間隔調整を行うことができます。

文字の間隔調整を行うには：

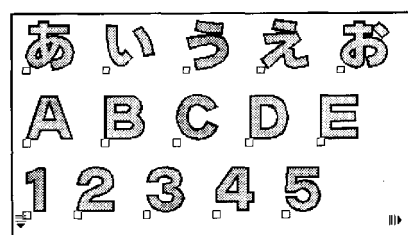
1. 間隔制御ハンドル  の上に、フリーフォーム編集カーソルを置いてください。



2. 文字間隔を広げる場合は外側に、狭めるときには内側にドラッグしてください。




3. ドラッグした方向に、文字の間隔調整が行われます。

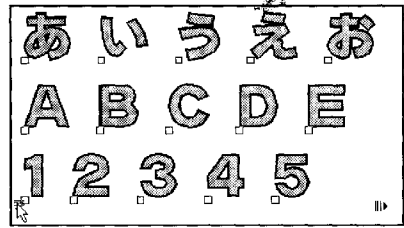


行の間隔調整

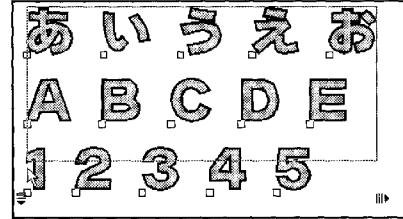
文字編集時に、文字制御ハンドル  を使用して、行の間隔調整を行うことができます。

行の間隔調整を行うには：

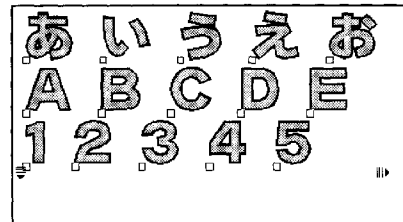
1. 間隔制御ハンドル  の上に、フリーフォーム編集カーソルを置いてください。



2. 行の間隔を広げる場合は外側に、狭めるときには内側にドラッグしてください。



3. ドラッグした方向に、行の間隔調整が行われます。

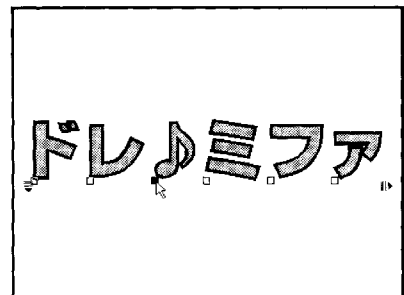


文字のサイズ体変更

テキストの1文字ずつを対象にして、文字のサイズ変更を行うことができます。

文字のサイズを変更するには：

1. サイズの変更を行う文字の文字編集点 (□) を選択してください。選択された文字編集点は、□から■に変わります。



2. [スタイル] / [文字] / [サイズ] を選択し、カスケードメニューから文字サイズを選択するか、または [特定] を選択し、[文字のサイズ] ダイアログボックスで文字サイズを入力してください。選択した文字のサイズが変更されます。



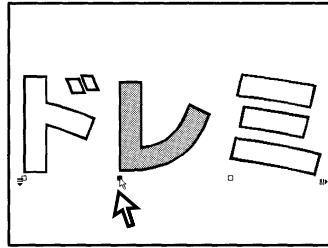
複数の文字を選択し、文字サイズを変更することもできます。

文字の位置変更

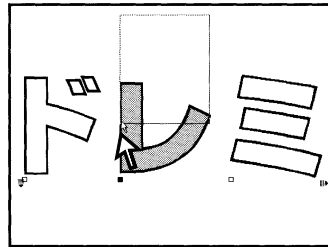
テキストの1文字ずつを対象にして、位置の変更を行うことができます。

文字の位置変更を行うには：

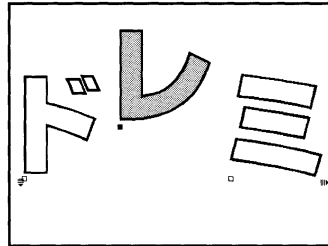
- 1.位置の変更を行う文字の文字編集点を選択してください。



- 2.変更したい位置へ文字編集点をドラッグしてください。



- 3.ドラッグした位置に、選択した文字が移動します。

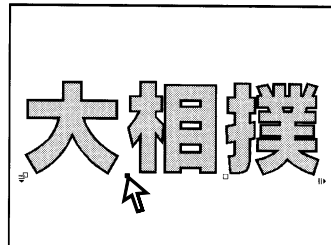


文字の書体変更

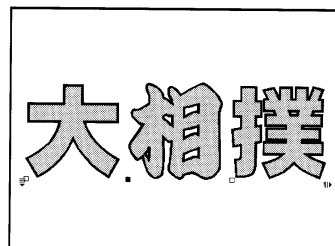
テキストの1文字ずつを対象にして、文字の書体を変更することができます。

文字の書体を変更するには：

- 1.書体を変更する文字の文字編集点を選択してください。



2. [スタイル] / [文字] / [書体] を選択してください。[文字の書体] ダイアログボックスが現れます。
3. [文字の書体] ダイアログボックスから、変更したい書体を選択してください。
4. [OK] ボタンをクリックしてください。選択した文字の書体が指定した書体に変更されます。

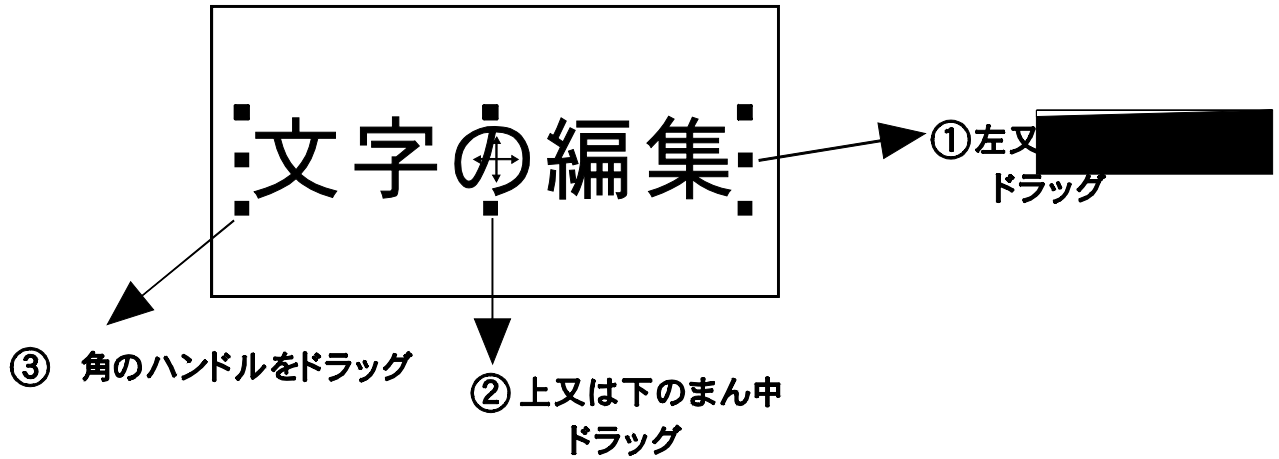


キーボードの **Shift** キーを押しながら、編集する文字編集点をクリックすると、続けて複数の文字編集点を選択することができます。

VII. 文字の変形

マウス操作により長体、平体にします。

文字をマウスポインタでクリックして、オブジェクトハンドルを出します。



文字の編集

① 文字の編集

平体がかかる

② 文字の編集

長体がかかる

③ 文字の編集


全体が大きく
又は小さくなる

文字の編集

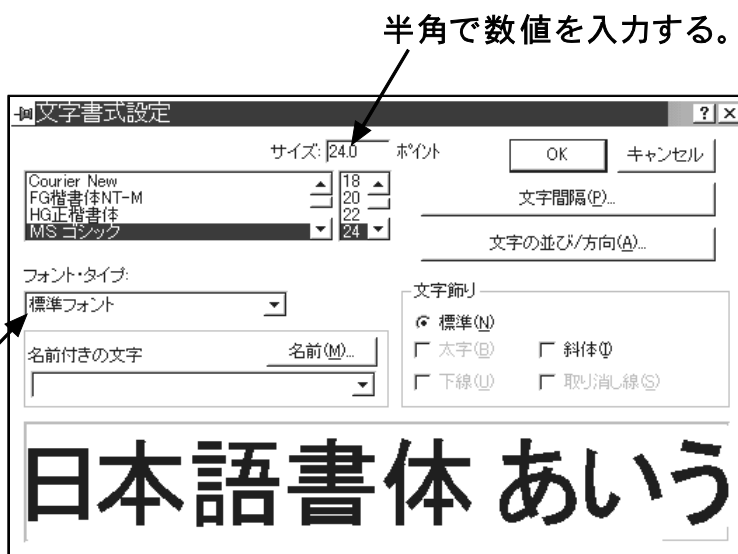
文字の編集

VIII. 書体の変換の仕方

1. 変更したいテキスト文字をクリックして、ハンドルを付ける。
(オブジェクトハンドル)
2. **スタイル(S)** クリック メニューバーの中
↓
3. **文字(T)** クリック
↓
4. **文字の書式設定(C)** クリック → 文字書式の画面が表示されます。

(2.~3.以外の他の方法)
 をクリック
↓
文字書式設定の画面が表示されます。

漢字の場合は
フォントタイプ 標準フォント
英数字の場合は
フォントタイプ 英数フォント



文字書式設定の画面

フォント名一覧ボックスに選択可能なフォントが表示されます。

5. 変更するフォント名をクリックします。

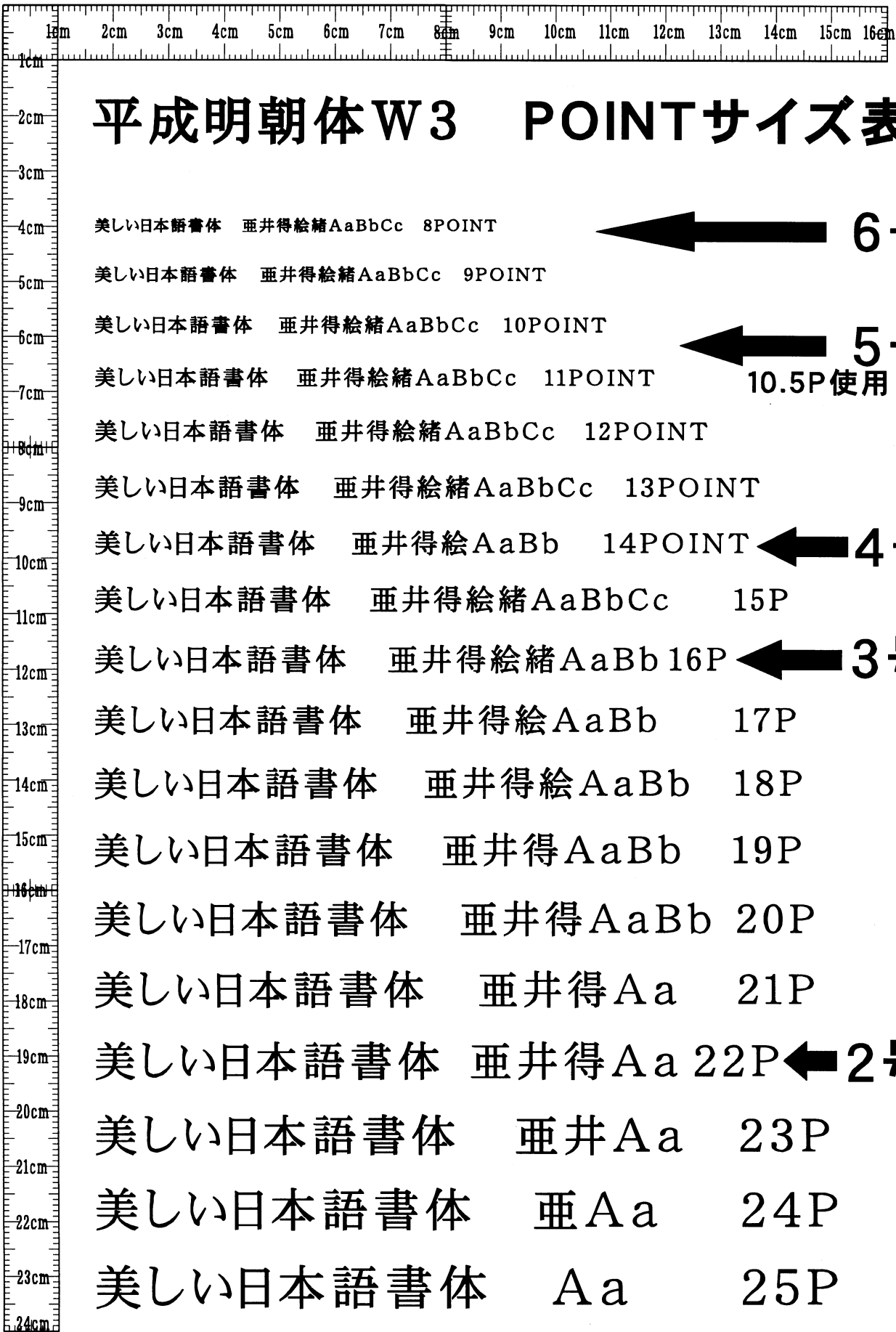
*サイズを変更したい時は、サイズに数値入力します。

(この時の数値は「半角」の状態にする)

指定する文字の大きさは ポイント、級数、号表を参照。

(次のページにPOINTサイズ対応表があります。)

6. **OK** をクリック。



平成明朝体W3 POINTサイズ表

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 8POINT

← 6号 (11級)

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 9POINT

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 10POINT

← 5号 (16級)
10.5P使用

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 11POINT

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 12POINT

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 13POINT

美しい日本語書体 亜井得絵AaBb 14POINT ← 4号 (20級)

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBbCc 15P

美しい日本語書体 亜井得絵緒AaBb 16P ← 3号 (24級)

美しい日本語書体 亜井得絵AaBb 17P

美しい日本語書体 亜井得絵AaBb 18P

美しい日本語書体 亜井得AaBb 19P

美しい日本語書体 亜井得AaBb 20P

美しい日本語書体 亜井得Aa 21P

美しい日本語書体 亜井得Aa 22P ← 2号 (32級)

美しい日本語書体 亜井Aa 23P

美しい日本語書体 亜Aa 24P

美しい日本語書体 Aa 25P

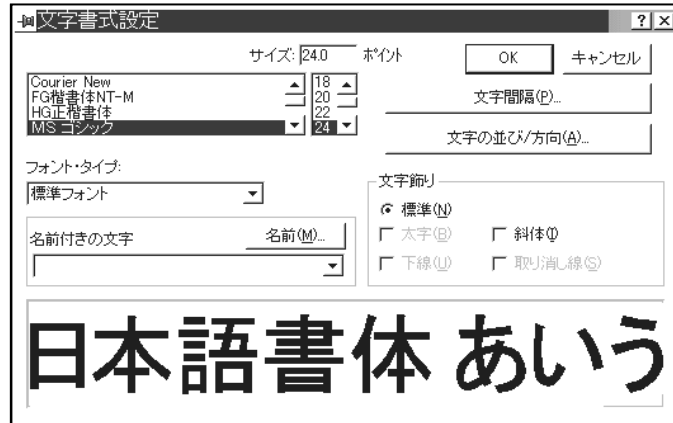
美しい日本語書体 Aa 26P ← 1号 (38級)

美しい日本語 42P ← 初号 (42級)

Ⅷ. レイアウトの詳細説明

☆文字編集について

☆文字書式について



文字書式設定の画面

- 文字間隔： 文字間
スペース間
圧縮／拡張、正体、長体、平体に変更、
- 文字の並び／方向： 並び
文字の方向 横書き、縦書き
- 文字飾り： 斜体
- フォントタイプ： 標準フォント 日本語書体(全角入力)
英数フォント 欧文書体(半角で入力する)
M CLASS又は、X.V CLASS(これは使いません)

各々のテキストも字を入れ替えて、文字のレイアウトをします。



ブロック選択ツールをクリック

住所印全体をドラッグして囲みます。

図形操作(A)



グループ化(G) します

黒塗枠を作成した印章データより、左右上下2mmほど大きくなるくらいまで小さくします。

2. JISコードでの入力

文字の変換が候補で出てこない場合(JIS第2水準など)には、コード表で出すことが出来ます。

まず、縦ツールボックスの **A** をクリックしてテキスト入力画面を出してから、キーボードの **半角/全角** + **ALT** を押して日本語全角入直モードにしてから **F10** を2回打って下さい。下の図にある表が出てきますのであとは下の文章のとおり作業を行って下さい。



キーボードのF10を2回押すとこの入力画面が表示されますのでこの所にJISコード番号を入力します。
目的の漢字・文字が表示されたら、**Enter**キーを押して確定します。

注 コード体系はJISコード体系を使用しています。
JISコード番号は最新の漢和辞典等に記載されています。
尚、コード番号を入力する画面の**JIS**をクリックするとシフトJISなど他のコード体系で漢字や文字を検索することができます。

ATOK7 テンプレートのキー操作

文字が入力されていない状態のキー割り当て

ガイド表示が第1レベルの状態

機能	キー
[MS IME 辞書の変更]ダイアログ ボックスの表示	Shift + F8
[MS IME 単語の登録]ダイアログ ボックスの表示	Shift + F6
コードトグル	Shift + F7
モード変更メニュー切替	Shift + F10
漢字・直接トグル	変換
漢字入力切替	Ctrl + PageUp
起動トグル	漢字
固定入力メニュー切替	Shift + F9
全角英数固定トグル	Shift + 無変換 *
全角空白の入力	Space
直接切替	Ctrl + PageDown
入力トグル	F10
入力位置(エコーモード/システムラインモード)切り替え	Ctrl + F6
半角英数トグル	無変換 *
半角空白の入力	Shift + Space

101英語キーボードでは無効です。

文字が入力された状態のキー割り当て

文字カーソルが表示された状態

機能	キー
前文字削除	BackSpace , Ctrl + H
半角空白の入力	Ctrl + Shift + Space
1文字削除	Delete , Ctrl + G
文字カーソルを左に移動	Shift + ← , Ctrl + S
文字カーソルを右に移動	Shift + → , Ctrl + D
文字カーソルを末尾に移動	Ctrl + → , Ctrl + F
半角英数トグル	無変換 *
全角英数固定トグル	Shift + 無変換 *
固定入力メニュー切替	Shift + F9

* : 101英語キーボードでは無効です。

参考:文字の変換方法2

文節カーソルが表示された状態

機能	キー
全文字消去	Esc
全文字戻し	Insert , BackSpace , Ctrl + H
文節文字戻し	Shift + BackSpace , Ctrl + J
全確定	Enter , Ctrl + M
次候補を表示	Space
前候補を表示	↑ , Ctrl + E
対象文節の末尾を1文字縮める	← , Ctrl + K
対象文節の末尾を1文字伸ばす	→ , Ctrl + L
文節カーソルを先頭に移動	Ctrl + ← , Ctrl + A
文節カーソルを末尾に移動	Ctrl + → , Ctrl + F
文節カーソルを左に移動	Shift + ← , Ctrl + S
文節カーソルを右に移動	Shift + → , Ctrl + D
先頭文節確定	↓ , Ctrl + N
対象文節まで確定	Shift + ↓
半角英数トグル	無変換 *
全角英数固定トグル	Shift + 無変換 *
全角ひらがなへの変換	F6 , Ctrl + U
全角カタカナへの変換	F7 , Ctrl + I
半角への変換	F8 , Ctrl + O
全角英数への変換	F9 , Ctrl + P
固定入力メニュー切替	Shift + F9

* : 101英語キーボードでは無効です。

候補一覧が表示された状態



機能	キー
前候補群を表示	Shift + 変換 *
次候補群の表示	変換
前候補を表示	↑
次候補を表示	Space
文節カーソルを先頭に移動	Ctrl + ←
文節カーソルを末尾に移動	Ctrl + →
文節カーソルを左に移動	Shift + ←
文節カーソルを右に移動	Shift + →

* : この機能は、106日本語、AX日本語、5576-002/003、5576-001、5523-S キーボードで有効です。

3. データ印の作成方法

データ印サンプル集を使っての作成方法について説明します。

I. サンプルデータ印の出し方

1. **描画** クリック
↓
2. **クリップアート・マネージャー** クリック
↓
3. ****** データ印** クリック
ex ↓
4. **06 6号丸18mmA** クリック
↓
5. **ドキュメントへの追加** クリック
6. マークをマウスで出したい位置の左上に持って行って
クリック
7.  表示ツールの上でクリックして、 ズームインツールを出す。
8. 拡大表示したい部分をドラッグして囲む。

クリップアート集の中のデータ印をクリックして、色反転します。

作成したいデータ印が6号丸18mm だとします。



Ⅱ. テキスト入力・編集の仕方

1. データ印の上でクリックして、ハンドルを出す。(オブジェクトハンドル)

2. グループ解除する。

*:方法1. **図形操作** クリック



グループ解除 クリック

方法2. ツールボックスの中より

図形操作ツールをドラッグして

グループ解除ツールではなす。

方法3. マウスの右ボタンを押してグループ

解除の上ではなす。

以上のように、グループ解除するためには三つの方法があります。

他の場合もいくつかの方法がありますので、一番使いやすい方法でして下さい。

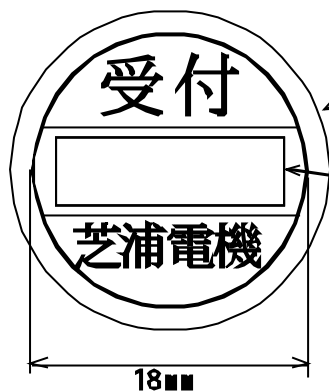
3. データ印の上でクリック

4. グループ解除する。

6号丸18mmA



画面上ではこのように → 説明しやすいようにこの形でマニュアル表示されます。では、表します。

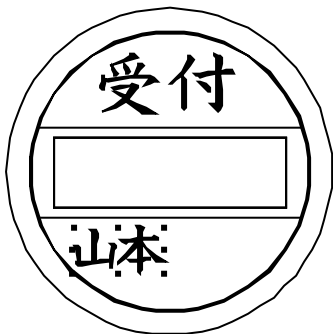


赤枠 データ印の器具の外側の大きさになります。
レーザーにてゴムを半分の深さほど切ります。

緑枠は三重線になっています。
レーザーにてゴムを切り取ります。

例 芝浦電機を山本に変更する場合。

1. 芝浦電機の文字の上で クリック。
2. **A** テキスト入力ツールを クリック
3. 山本と入力します。
4. **置換** クリック。

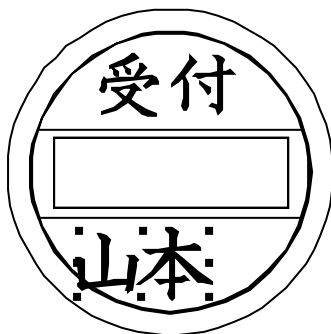


5.

ハンドルの右下をドラッグして文字を大きくします。

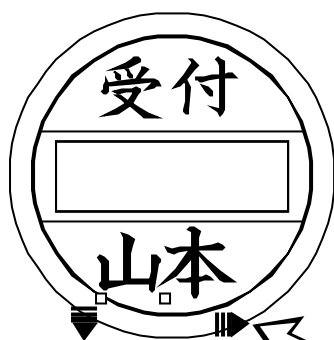
*他の方法

数値で文字の大きさを変える場合は文字書式
の所でサイズを入力




6.

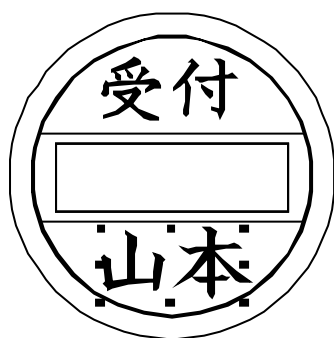
山本の文字の上にマウスポイントを持って行ってドラッグして右側の文字(山)の位置を決めます。



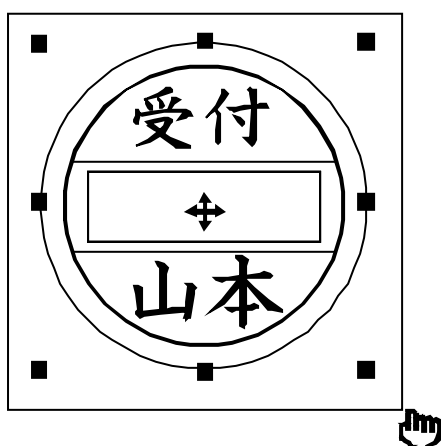
マウスポインターをドラッグした状態

7.

 文字編集ツールをクリックして右側の間隔制御ハンドルをドラッグして、「本」の位置を決めます。



8.データ印全体をグループ化します。

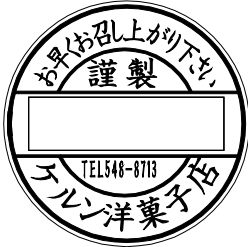


ブロック選択ツールでドラッグしながらデータ全体を囲む。選択したデータの周囲にオブジェクトハンドルの図形(■)が表示されたのを確認しながら図形操作(A)→グループ化(G)をクリックしてください。

Ⅲ. データ印の作成 No.2

1.12号丸36mmCを画面に出します。

2.グループ解除します。



3.「お早くお召し上がり下さいの」の文字をクリック

4. **A** をクリック。

5.文字を入力 例 田無特産。

6.置換。



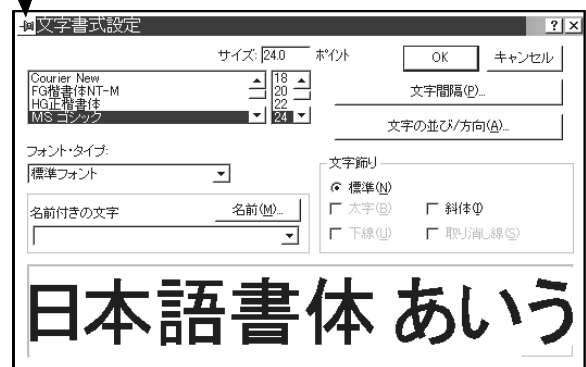
7. より文字書式を出します。

8.サイズに15(半角にて)と入力して。

9.OKをクリック。



● ピンのアイコンをクリックして止めておくと、画面表示が作業しても消えません。



10.文字間隔をクリック

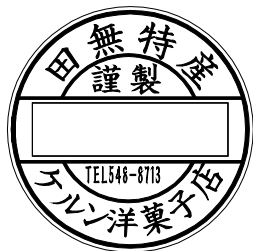
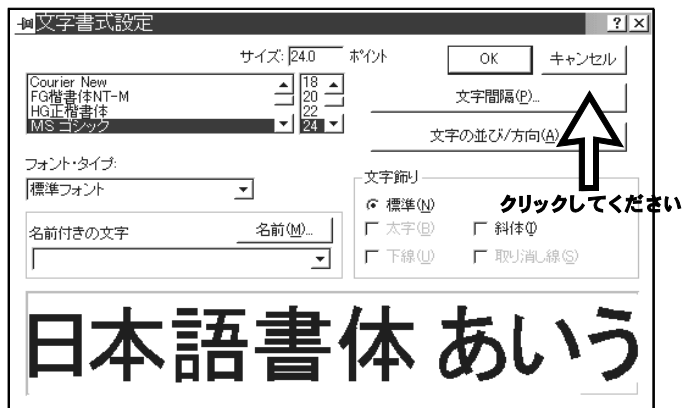
例

11.圧縮／拡張 に100と入力。

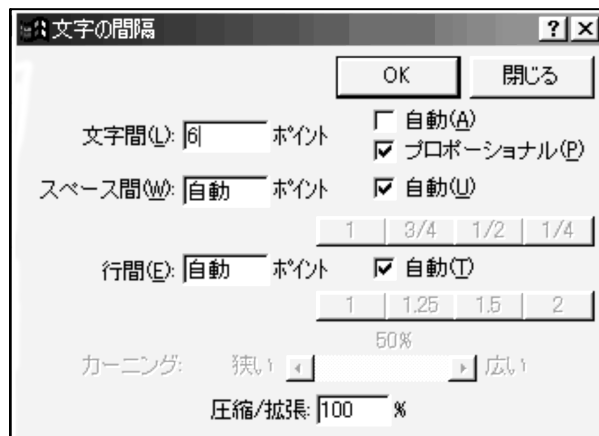
12.文字間 に 6 と入力。

13. **OK** クリック

14. **OK** クリック 文字書式のところ。

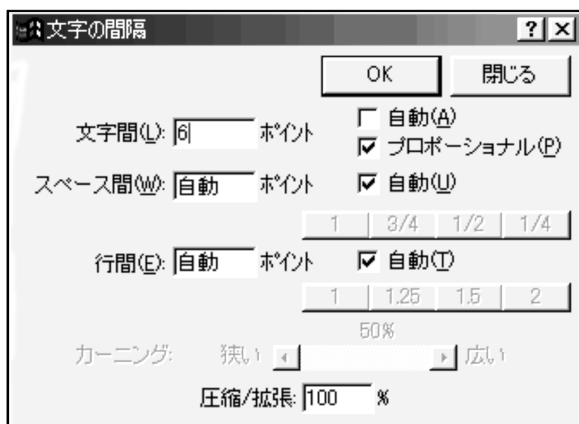


文字間隔の設定画面

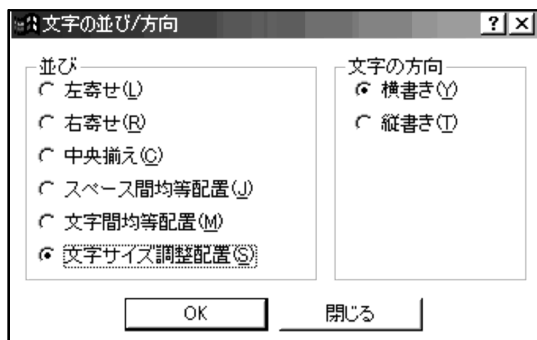


15.他の文字も同じ様にして、変更します。

16.データ印全体をグループ化します。



文字間隔の設定画面



文字の並び/方向の設定画面

*データ印の回転している文字は、

○文字編集ツール  とハンドルを持って

のマウสดラッグ操作は使えません。

○文字書式を利用します。

サイズの変更は、ポイント入力、

文字間隔 で

文字間、

圧縮／拡張 で数値を入れて長体、
平体にします。

●回転している文字数が多くて変形が必要な時文字の並び/方向の機能で文字サイズ調整配置(S)をクリックすると、文字が自動変形して簡単に文字編集ができます。

4・枠付印の作成方法

A. 枠付印の新規作成方法について説明します。

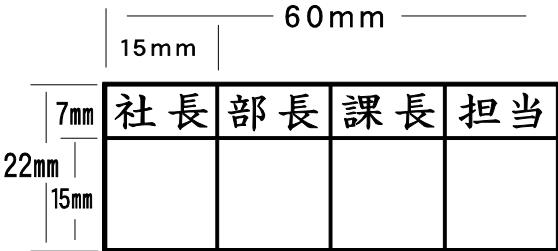
1. 次の決済版を作りたいとします。

社長	部長	課長	担当

画面上ではこのようになります。

社長	部長	課長	担当

2. 各所の寸法を決めます。



B. Ace Drawの新規画面より

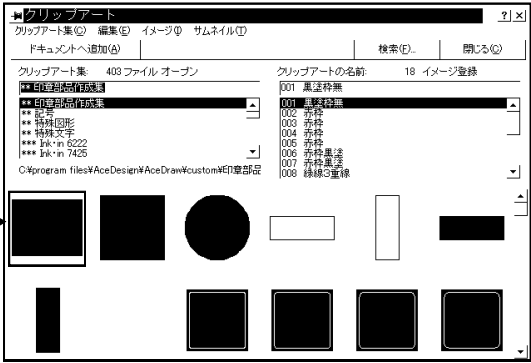
1. 黒塗枠無しを約10×5cm程度の大きさで出す。

- 描画** をクリック
- クリップアートマネージャー** クリック
- 印章作成部品集** クリック
- 黒塗枠無し** クリック
- ドキュメントへの追加** クリック

大きさを10×5cm程度に変更

拡大表示ツールでこの部分を拡大表示、

クリップアートの画面表示



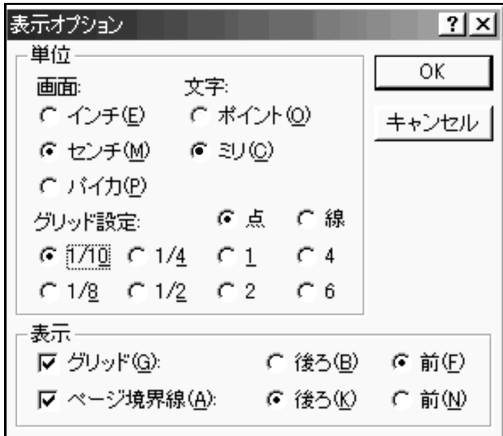
2. 補助グリッドを出す。

- 表示** クリック
- 表示オプション** クリック

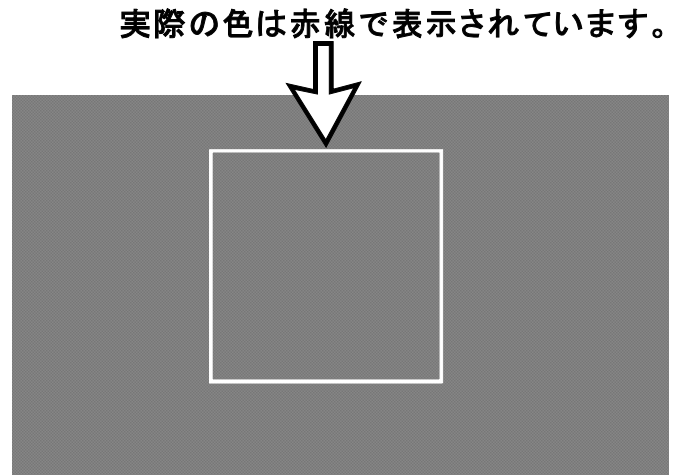
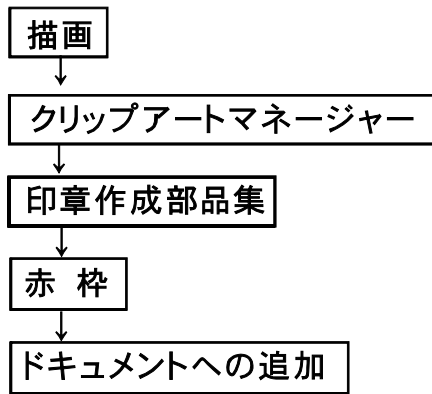
単位 センチ
 グリッド設定 1/10
 表示 グリッド 前
 に設定する。

OK クリック

表示オプションの設定画面

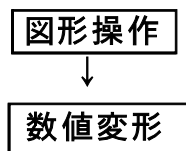


3.外枠の作成。



*その他 どんな方法でもいいので、
四角形の枠線を出せばいいです。

4.外枠の大きさを変えます。



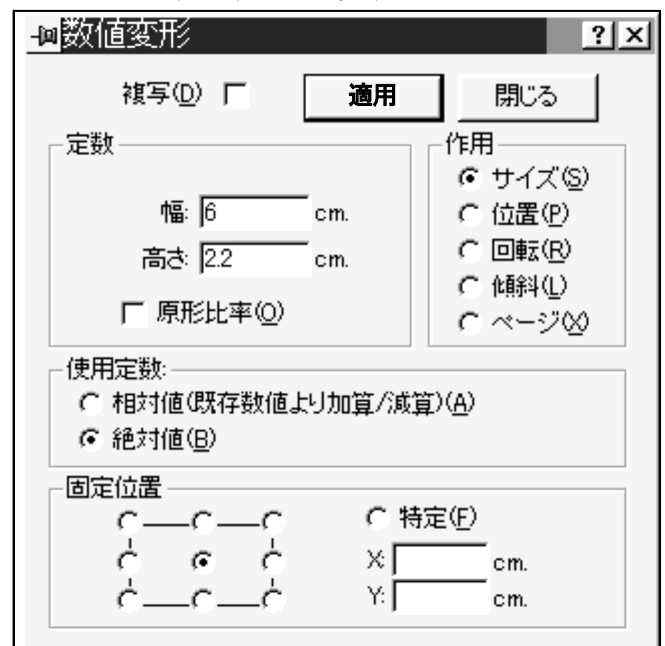
(他の方法)スラータスライン上のx・yの数値の上をダブルクリック

作用	サイズ	
定数	原型比率	OFF
	幅	<input type="text" value="6"/> cm
	高さ	<input type="text" value="2.2"/> cm

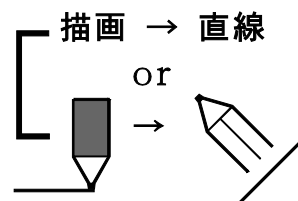
と入力

をクリックしてください

数値変形の設定画面



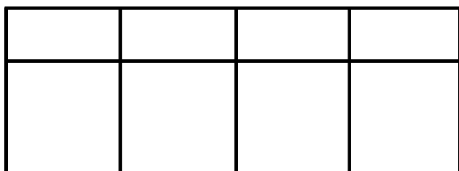
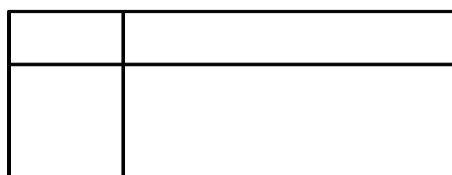
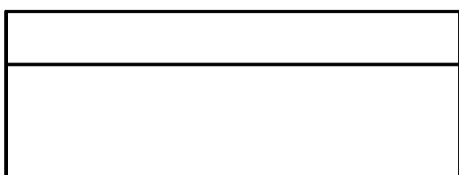
4.直線ツールにて線を引く。



1mm間隔のグリッドを目印にして

Shift キーを押しながらマウスをドラッグして横線を引く。

縦線を15mm間隔に引く。



縦線を引き終わったら、


右ボタンをダブルクリックして直線ツールを終了。

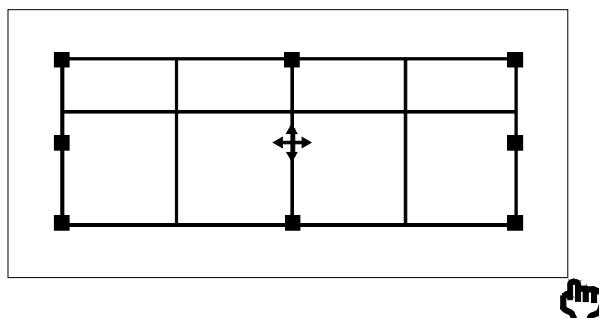
*終了 直線描画ツールのキャンセル

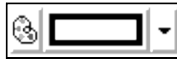


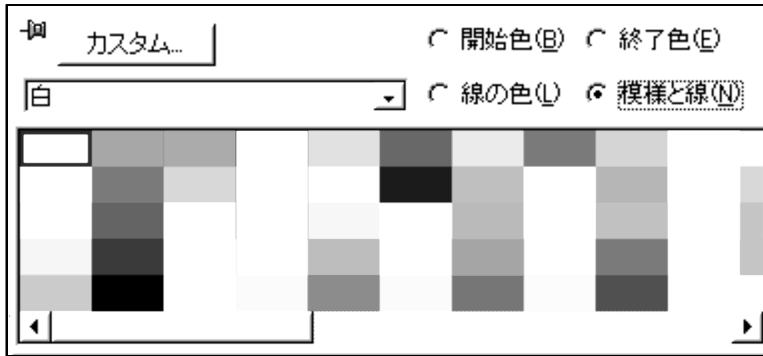
フリーフォーム編集のキャンセル

6.枠の色を変えます。

枠全体を  ブロック選択ツールでドラッグして囲みます。



 カラーパレットをクリック



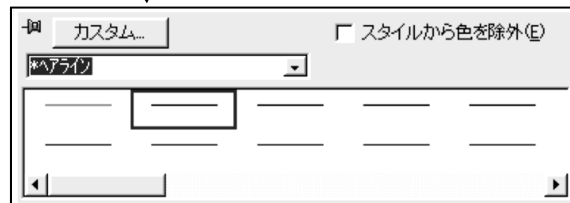
カラーパレットが現れる

- 説明
- 開始色 — 中の塗りつぶしの色です。
 - 線の色 — 線の色です。
 - 終了色 — 使いません(グラデーションのとき使用)
 - 模様と線 — 中の塗りつぶしと線の両方の指定。

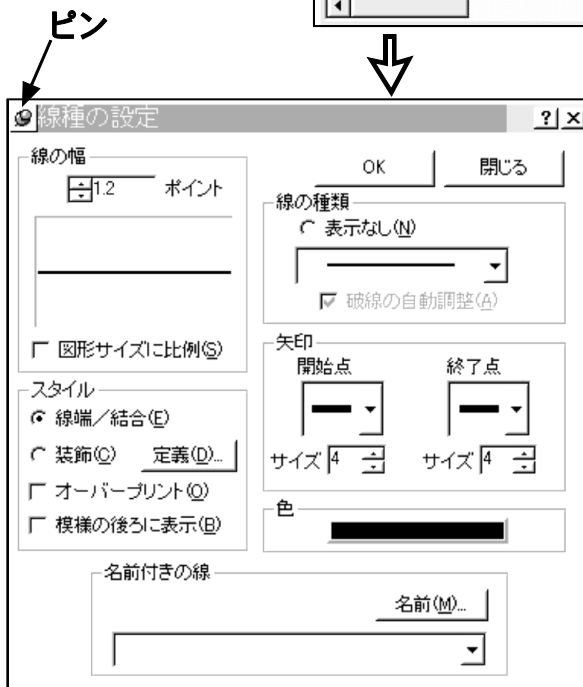
- ◆ 模様と線 にチェックを入れる。
カラーの白色のパレットをクリック(又はダブルクリック)

7. 模様のポイントを入れる。

 線種ボタンをクリック。



カスタムをクリック



ピンで止める

線の幅 ポイントと入力、

をクリック

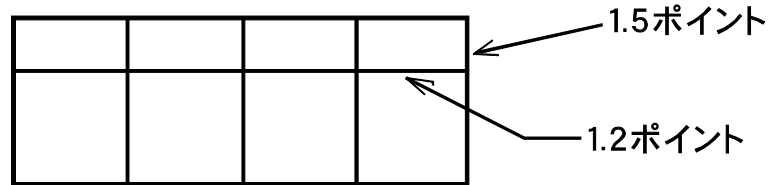
枠全体の線幅が1.2ポイントになります。


枠線の外側だけ クリック

線の幅 ポイントと入力、

適用 クリック

ピンをクリックして、線種ダイアログボックスを消す。



枠全体を  ブロック選択ツールで囲む、
グループ化する。

これで枠が完成しました。

8.次は中に入れる文字を入れます。

文字は、新規作成の方法で説明します。

A テキスト入力ツール をクリック、

日本語モードにします。 Alt+

社長 と入力、

追加 クリック、

ドラッグで画面を出す。

9.新規入力なので、文字のカラー線のあり、なし、線径、

書体は前回の設定で出ます。

カラーパレットで、白に変更、

線種で、ポイント 〇

線の種類 表示あり —

文字書式にて、大きさ16ポイント

楷書体 に変更。


10.

社長			

社長の文字をマウスで移動したり、
文字編集ツールをつかって、
レイアウトよく配置します。

11.

社長	社長	社長	社長

 複写ツールを使ってコピーします。

*複写のキャンセル、右マウスボタン
をクリック。

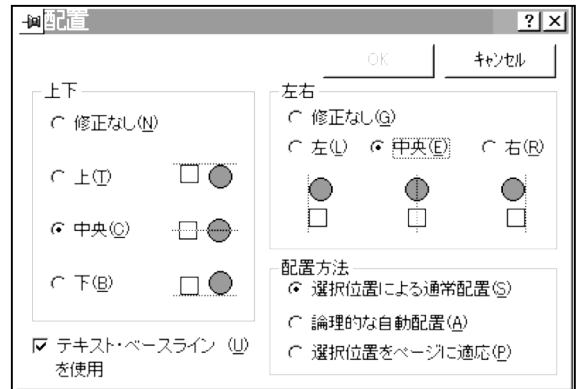
12. 部長の位置の社長をクリック、

A テキスト入力により、部長と入力して、**置換**

社長	部長	社長	社長

社長	部長	課長	担当

配置の画面表示



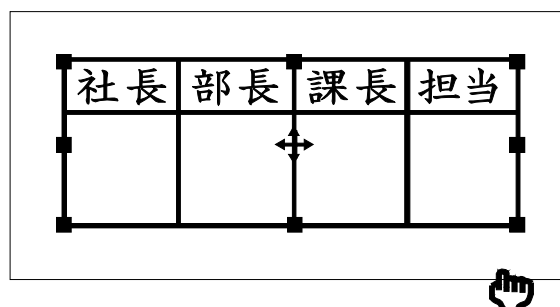
他の文字も同じようにします。

*配置ツールで4文字を水平にするときれいに出来ます。

4文字を選択して図形操作(A)→配置(A)→上下→中央(C)にチェックマーク
を付けてOKボタンを押す。

13. 枠印全体をグループ化します。

完成。



5・風雅印の作成方法

I. 雅印作成枠の出しかた

1. **描画** クリック



2. **クリップアート・マネージャ** クリック



3. **** 印章作成部品集** クリック

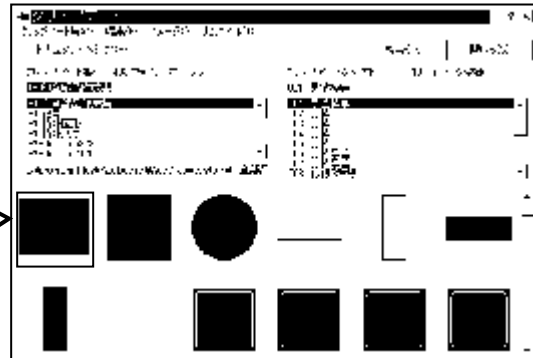


4. **001 黒塗り枠無し** クリック



5. **ドキュメントへ追加** クリック

クリップアートの画面表示



6. 画面の中にドラッグして適当な大きさに黒塗り枠を出す。



*この黒塗り枠の上で、白字で文字を作成します。

黒塗り枠の大きさが、ゴム印作成の全体の大きさです。

レーザー機により黒い部分を彫り、白い文字の所を凸にして残し、印字面になります。

Ⅱ. データサンプルの取り出し方

1. 描画



2. クリップアートマネジャー

例 ↓

3. **** 風雅印 (クリップアート集の中)



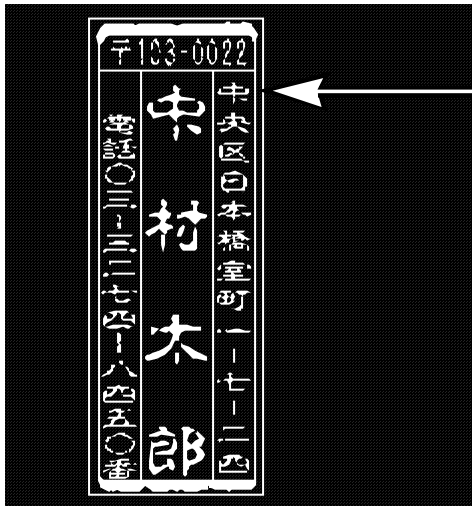
4. FT 03 (クリップアートの名前の中)





5. ドキュメントへの追加

6. 黒塗枠の上で、 マークをだしたい位置の左上でクリックする。

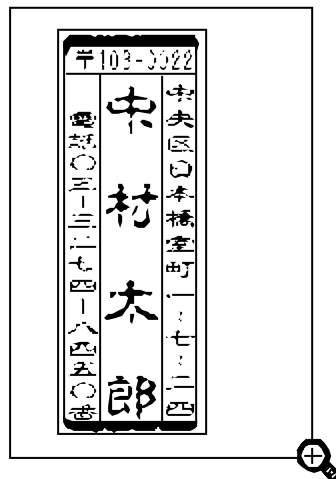
*注意 ドラッグして出すと寸法が変化します。



注:風雅印の場合
ゴム印の大きさに赤枠が
入っています。
この赤枠は、ゴムをレーザー
によりゴムの厚さの半分ほど
カットします。

7. データーが画面上に出たら、ツールボックスの  表示ツール をクリックして、
 ズームインツール を選びます。

8. サンプルを囲むようにドラッグして画面を拡大させます。



6・レーザー機への出力方法

A. プリンター設定

1. **ファイル(F)** クリック
↓
2. **プリンター設定(R)** クリック

プリンター(レーザー機)の設定



3. プリンター設定の画面からプリンターの名前を使用するレーザー彫刻機の機種VL-200ADVANCED又はVL-300ADVANCEDを選択します。
このときプリンター設定の印刷の向きが横(A)にチェックが付いているか確認してください。

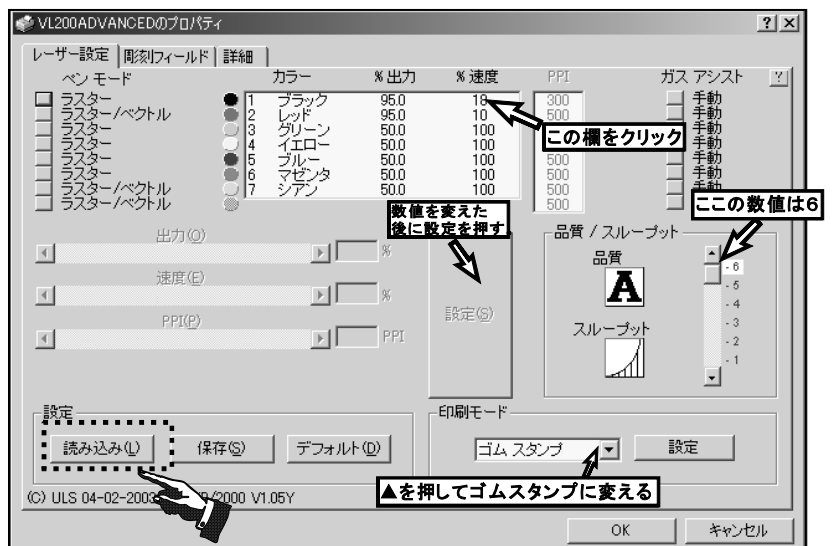
4. **プロパティ(P)** をクリック

●プロパティ(P)をクリックするとこの画面が表示されます。

①右のレーザー彫刻機への設定画面は無臭ゴム・ローレーンの場合(25WAT出力機)の標準的な設定数値になります。

②ゴム印の深さの浅い・深いの調整は、**ブラック**の欄をクリックして%速度の数値を変えてください。深く彫刻する時は数値を小さく、浅くするには数値を大きく。

③通常は右の設定画面の**読み込み(L)**のボックスをクリックしてください。

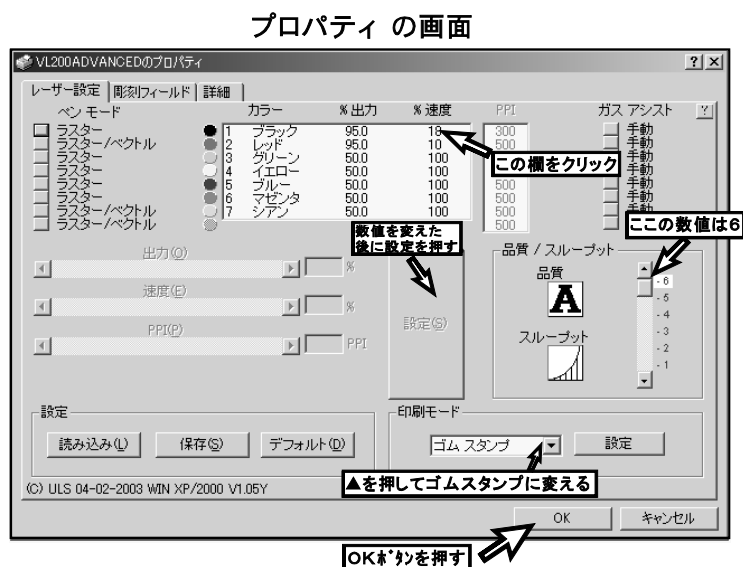


B.レーザー機への出力(印刷)設定

- 1.前のページで設定の読み込み(L)のボックスを押すと右の画面が表示されます。保存されたゴム標準の設定ファイルが見つからない時はドライブのボタンを押しながら設定ファイルの保存の場所を指定します。通常はC:ドライブのAceDrawかWindowsに保存。設定ファイルを確認したら**開く**ボタンをクリックしてください。



- 2.読み込みの開くを押すとプロパティの画面が表示されますので、設定値の出力・速度その他を確認したらOKボタンをクリックしてください。
- *ゴム印の深さの浅い・深いの調整は、**ブラック**の欄をクリックして%速度の数値を変えてください。深く彫刻する時は数値を小さく、浅くするには数値を大きく。



- 3.**ファイル(F)**→**印刷(P)**をクリックすると右の印刷の画面が表示されます。AceDrawの画面中のデータerを全部彫刻したい時は、印刷範囲の**◎現在のページ(U)**をクリックしてください。選択したデータerを部分的に彫刻したい場合は**◎選択オブジェクト(B)**をクリックしてOKボタンを押してください。現在印刷中の画面が表示されます。印刷中の画面が消えたらデータerはレーザー彫刻機へ転送されています。





4. 印刷ページ指定という画面が表示されるので左上が水色に変わっていることを確かめて、**OK** ボタンを押してください。


7. Versa Laserの電源入力

デスクトップの画面



このアイコンをクリックする。

※バーサーレーザー用の昇圧電源(トランス)のスイッチが必ず入っていることを確認してください。

1. パソコンのデスクトップ上にあるバーサーレーザーの  アイコンをクリックします。

電源入りの画面

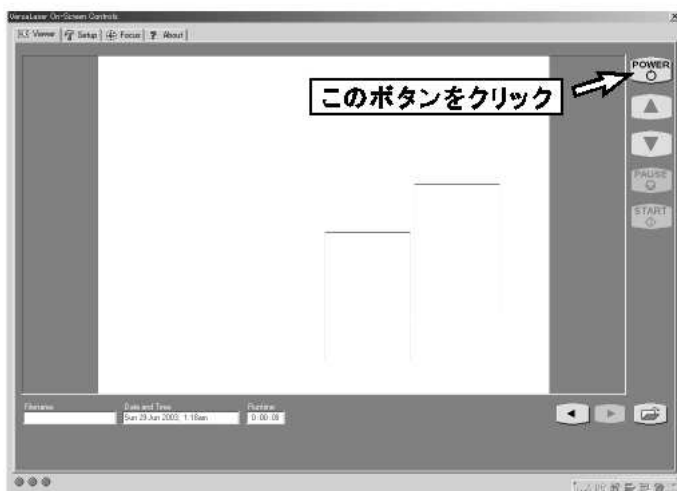


このボタンをクリック

2. VERSA Laserの設定画面がでてくるのでPOWERのボタンをクリックしてください。VERSA Laser本体から駆動音がして本体に電源が入ります。

電源が入ると本体の赤・青ランプが点灯します。この状態でパソコンからのデータを受け取る状態になります。

電源切の画面



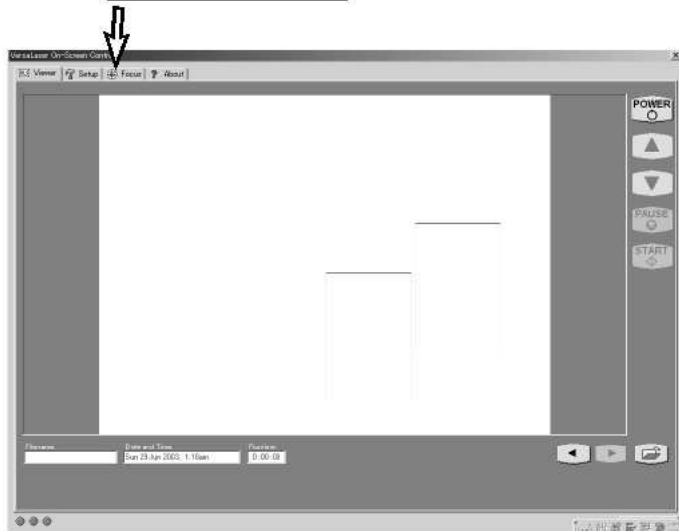
このボタンをクリック

このボタンをクリックすると画面が閉じます。

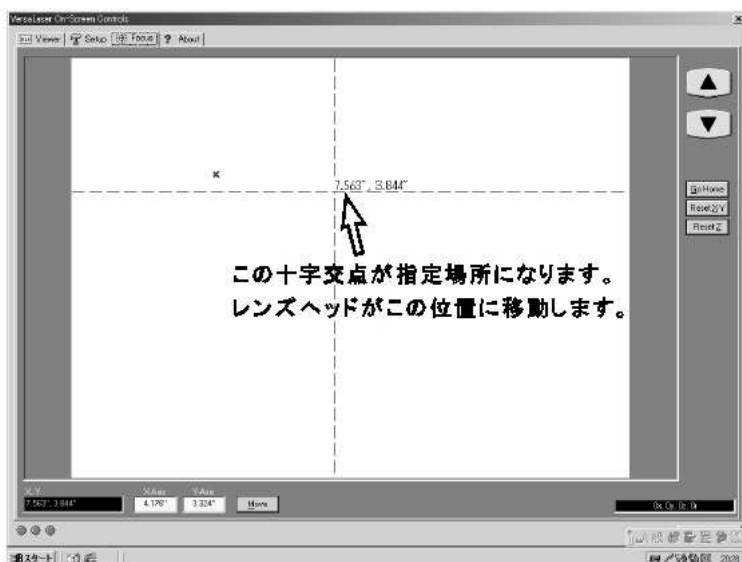
3. VERSA Laserの設定画面のPOWERのボタンをもう一度クリックしてください、本体の電源が切れます。VERSA Laserの設定画面を閉じる時は右上角の×印を押してください。

作業テーブルの昇降(焦点合わせ)

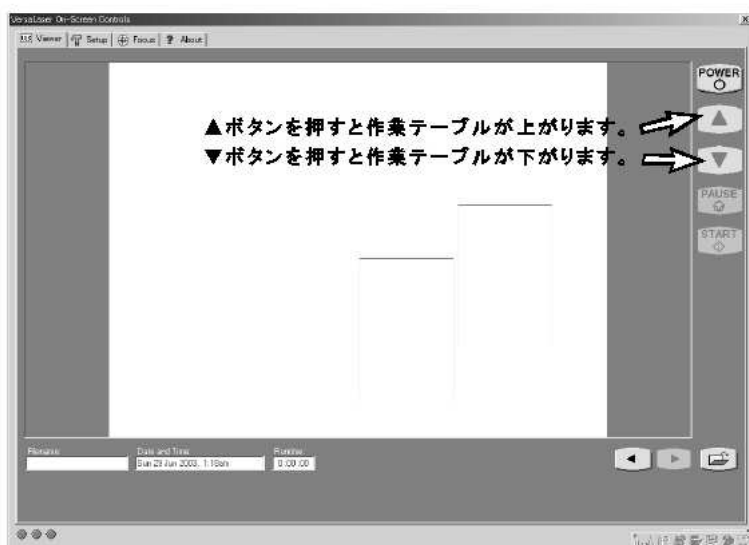
このボタンをクリック



1.レーザーで彫刻する前に彫刻材料との焦点距離を測るために、作業テーブルを昇降するモードにします。VERSA Laser On-Screen ControlsのFocusボタンを押します。



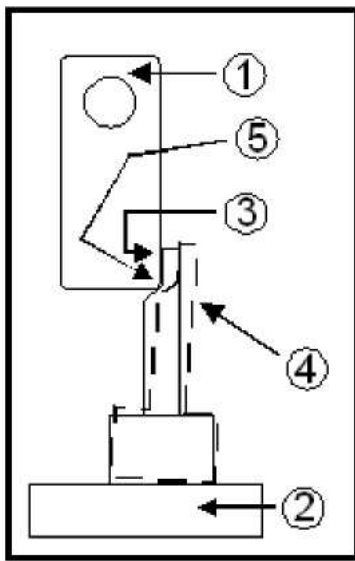
2.VERSA Laser On-Screen ControlsのFocusボタンを押しますと画面上に十字上のポインターが表れますので焦点距離を測る場所を指定します。レーザー機側のレンズホルダーが指定した位置に移動します。



3.レーザー機側の操作▲▼ボタンを押しながら作業テーブルを昇降させ材料とレンズホルダーとの焦点距離を決めます。

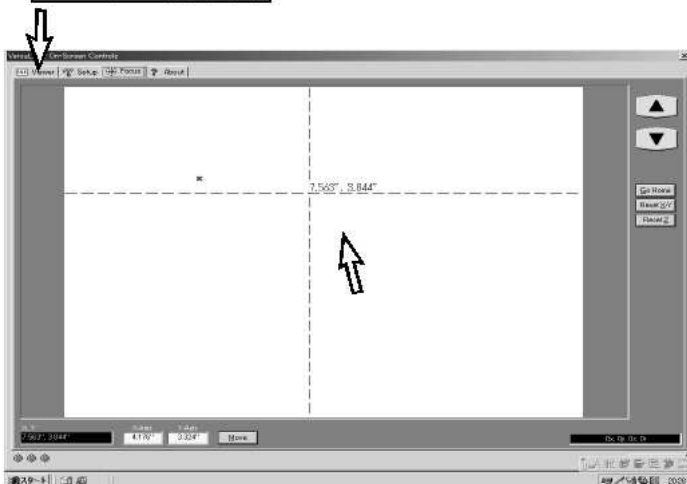
(次項参照)

作業テーブルの昇降(焦点合わせ)



1. レンズ・カートリッジ①の位置を素材の上方に合わせます。
2. フォーカス・ツールを素材の②の上に合わせます。
3. Z軸テーブルを上下し、フォーカス・ツールのフラット・エッジがレンズ・カートリッジ④から傾いてスライドするまでテーブルをゆっくり上げます。フォーカス・ツールはレンズ・カートリッジの下側エッジがフォーカス・ツール⑤の斜めエッジのトップに合わさると傾きます。傾く手前がベストポジションとなります。

このボタンをクリック



4. 画面上のViewerボタンを押します。レーザー機側のレンズホルダーがHOMEに戻ります。



赤色LED
消灯:扉が閉まっています。
点灯:扉が開いています。

緑色LED
消灯:電源がONです。
点灯:電源がOFFです。

5. 赤色LEDと緑色LED

それぞれのLEDはレーザー機の状態を表しています。内容は左に示します。

特に赤色LEDは安全確認の為のLEDです。
消灯:扉が閉まっています。

レーザーが照射されます。

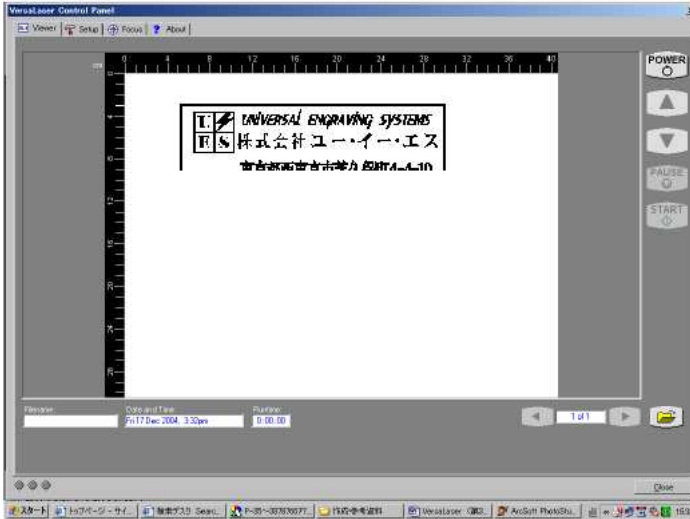
点灯:扉が開いています。

レーザーは照射されません。

赤色レーザーポインターが点灯します。

6. 部材のセッティング

レーザー機側の扉を開けた状態で操作STARTボタンを押します。赤色レーザーポインターにより彫刻データ通りにイメージ彫刻がスタートします。パソコンの画面上には彫刻と同様に彫刻イメージが同時進行されます。イメージ彫刻が赤色レーザーポインターにより行われている間に部材の配置をを確認し適切な位置にセッティングします。

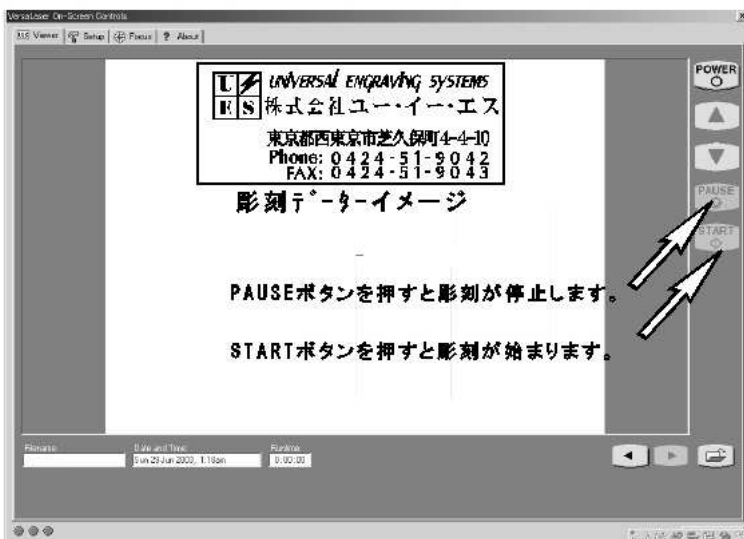


PAUSEボタンを押すと彫刻が停止します。
STARTボタンを押すと彫刻が始まります。

7. 彫刻

部材の配置を確認し、レーザー機側の扉を閉めます。操作STARTボタンの上の赤色LEDが消灯しているのを確認をし、STARTボタンをおします。レーザーにより彫刻データ通りに彫刻がスタートします。パソコンの画面上には彫刻と同様に彫刻イメージが同時進行されます。なお、彫刻途中で止めたい時はPAUSEボタンを押すとHOMEに戻り、再度、PAUSEボタンを押すと彫刻の続きから始まります。STARTボタンを押すと最初から彫刻が始まります。

また、Viewer画面からもレーザー機側と同様の機能ボタンをもちいており、STARTボタンを押すと彫刻が始まり、彫刻途中で止めたい時はPAUSEボタンを押します。

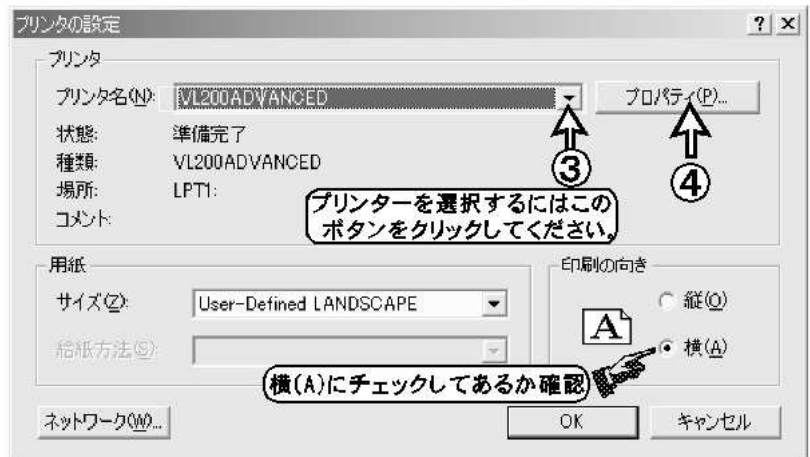


6・レーザー機への出力方法

A. プリンター設定

1. **ファイル(F)** クリック
↓
2. **プリンター設定(R)** クリック

プリンター(レーザー機)の設定



3. プリンター設定の画面からプリンターの名前を使用するレーザー彫刻機の機種VL-200ADVANCED又はVL-300ADVANCEDを選択します。
このときプリンター設定の印刷の向きが横(A)にチェックが付いているか確認してください。

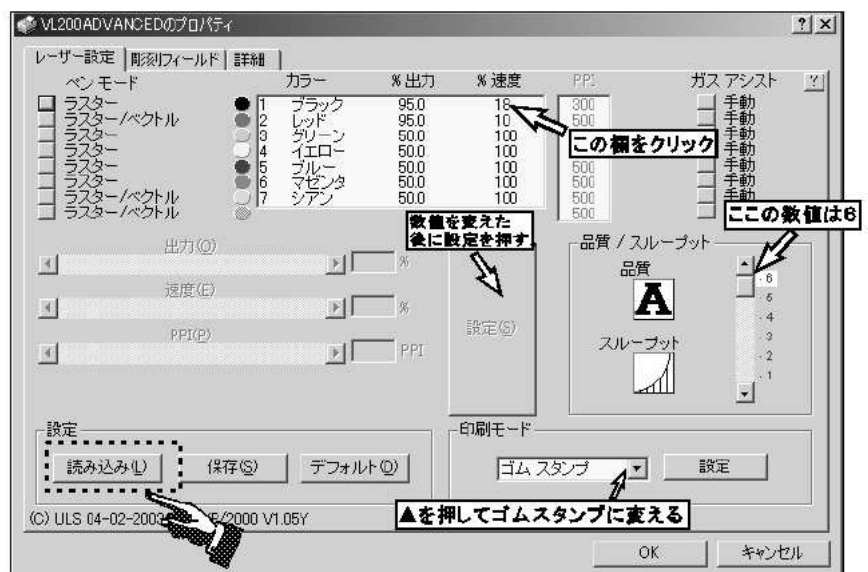
4. **プロパティ(P)** をクリック

●プロパティ(P)をクリックすると
この画面が表示されます。

①右のレーザー彫刻機への設定画面は無臭ゴム・ローレンの場合(25WAT出力機)の標準的な設定数値になります。

②ゴム印の深さの浅い・深いの調整は、ブラックの欄をクリックして%速度の数値を変えてください。深く彫刻する時は数値を小さく、浅くするには数値を大きく。

③通常は右の設定画面のパラメータが毎回表示されますが、既存の設定を読み込むときは、設定の「読み込み(L)」のボックスをクリックしてください。



B.レーザー機への出力(印刷)設定

- 1.前のページで設定の読み込み(L)のボックスを押すと右の画面が表示されます。保存されたゴム標準の設定ファイルが見つからない時はドライブのボタンを押しながら設定ファイルの保存の場所を指定します。通常はC:ドライブのAceDrawかWindowsに保存。設定ファイルを確認したら開くボタンをクリックしてください。

読み込み(L)の画面



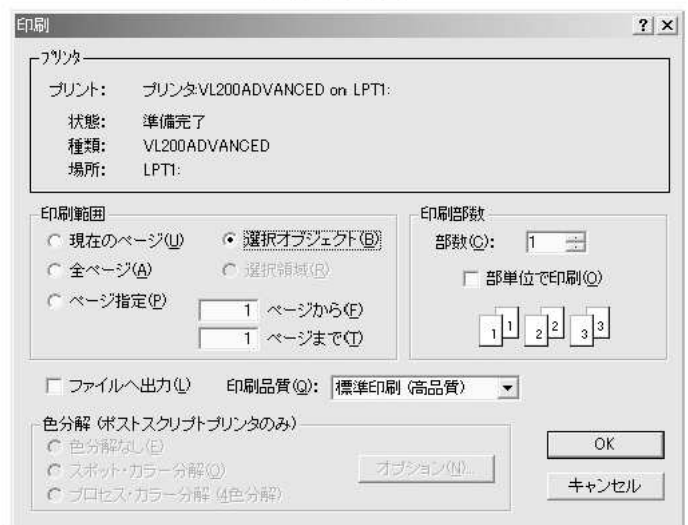
- 2.読み込みの開くを押すとプロパティの画面が表示されますので、設定値の出力・速度その他を確認したらOKボタンをクリックしてください。
*ゴム印の深さの浅い・深いの調整は、ブラックの欄をクリックして%速度の数値を変えてください。深く彫刻する時は数値を小さく、浅くするには数値を大きく。

プロパティの画面



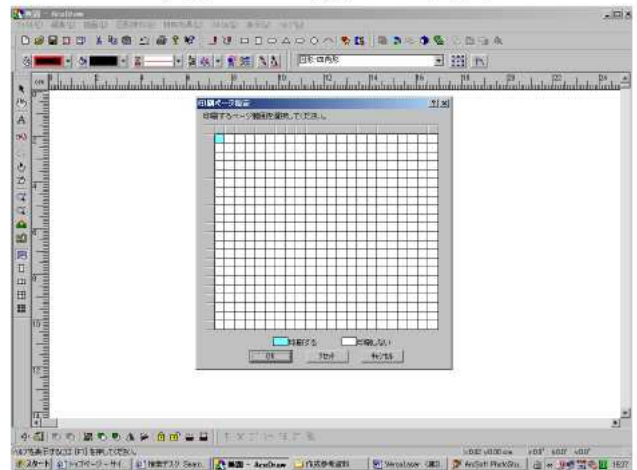
- 3.ファイル(F)→印刷(P)をクリックすると右の印刷の画面が表示されます。AceDrawの画面中のデータerを全部彫刻したい時は、印刷範囲の◎現在のページ(U)をクリックしてください。選択したデータerを部分的に彫刻したい場合は◎選択オブジェクト(B)をクリックしてOKボタンを押してください。現在印刷中の画面が表示されます。印刷中の画面が消えたらデータerはレーザー彫刻機へ転送されています。

印刷の画面



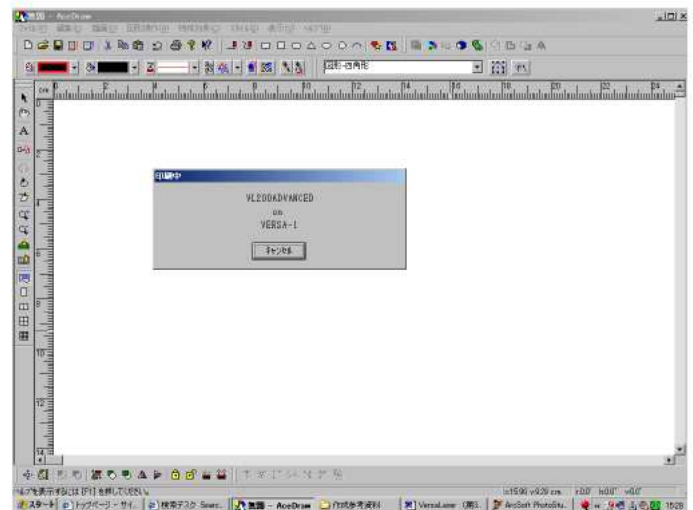
印刷ページ指定 の画面

4. "印刷ページの指定"が表示されます。
(印刷するページ範囲を選択してください。)
ページを確認(通常は左上の1ページのみ)
してOKをクリックしてください。



5. データ転送の"印刷中"が表示され
画面上から消えます。
消えるとデータ転送の完了です。

印刷中 の画面



6. Viewer画面に彫刻データイメージ
が表示されます。

Viewerの画面



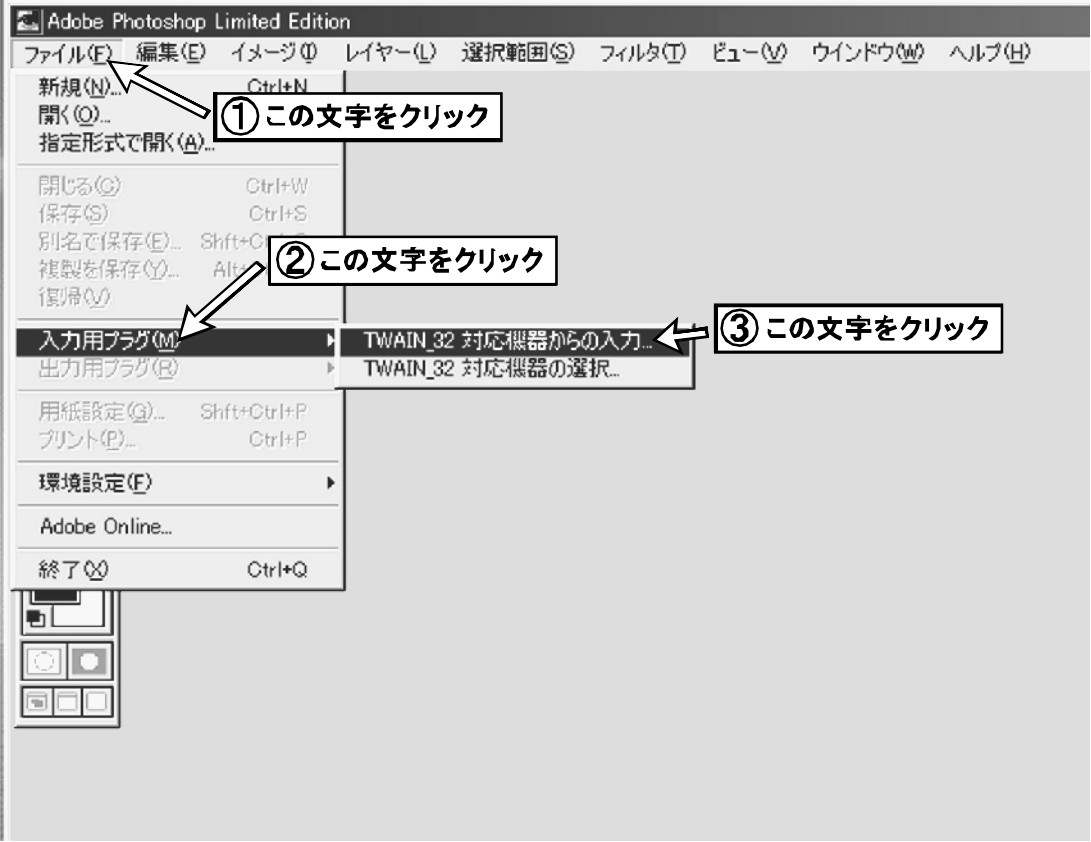
8. スキャナーの使い方

1. データー(画像)の取り込み方法

- 1. 最初にスキャナーの電源スイッチを入れます。
- ↓
- 2. コンピューターの電源スイッチを入れます。
- ↓
- 3. コンピューターの1番最初の画面上のPhoto Shop LEのアイコンを2回クリックする。

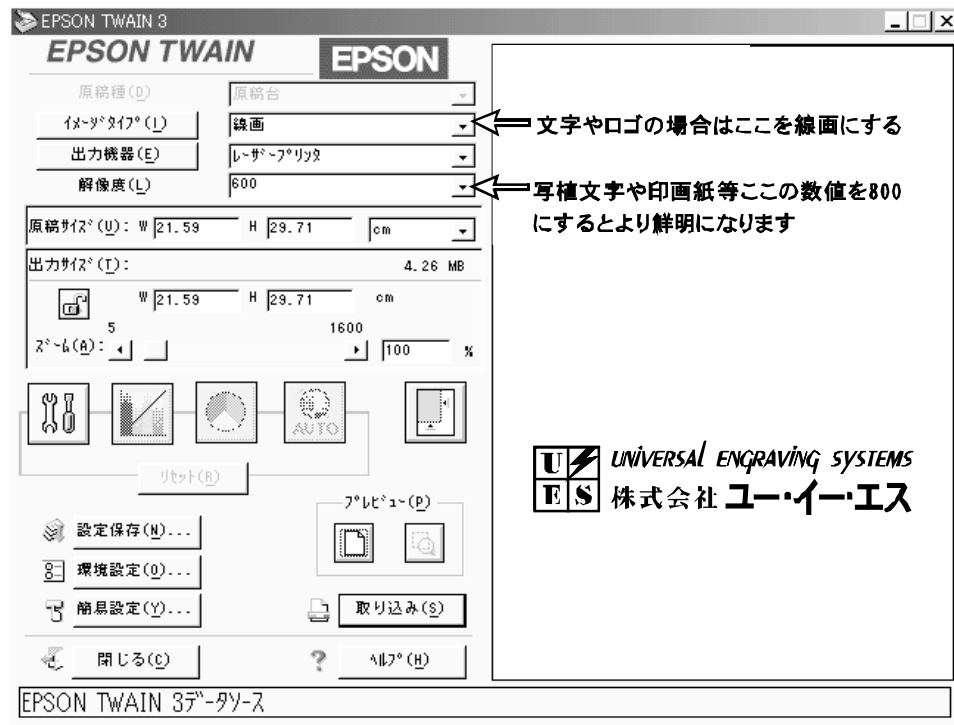





Photo Shop LEの画面が表示されます




- 4. ファイル(F)→入力用プラグ(M)→TWAIN32対応機器からの入力→順に文字の部分の部分を一回ずつクリックしていく。

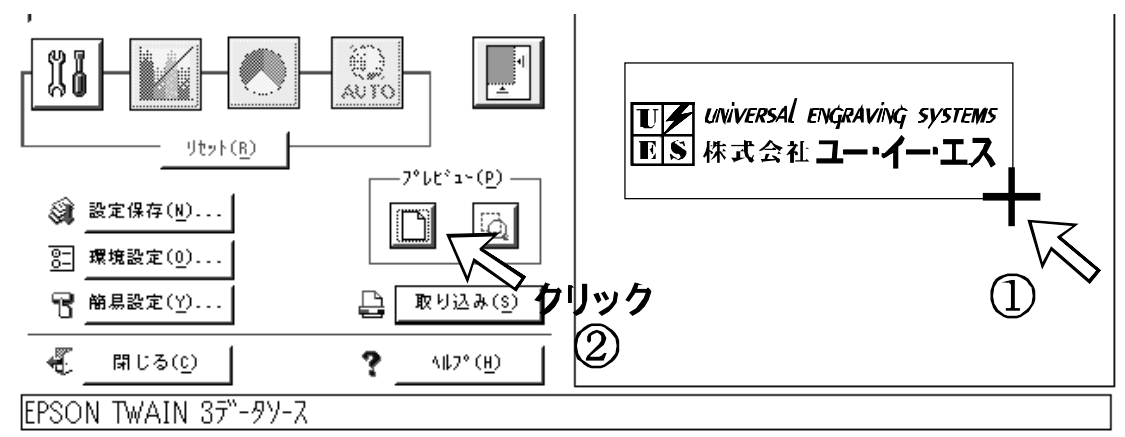
EPSON TWAIN 画面が表示されます




5. 取り込みたい文字が画面に表示されたら  の絵をクリックして右の画面に移動しますと  の絵から  の絵に変わります。

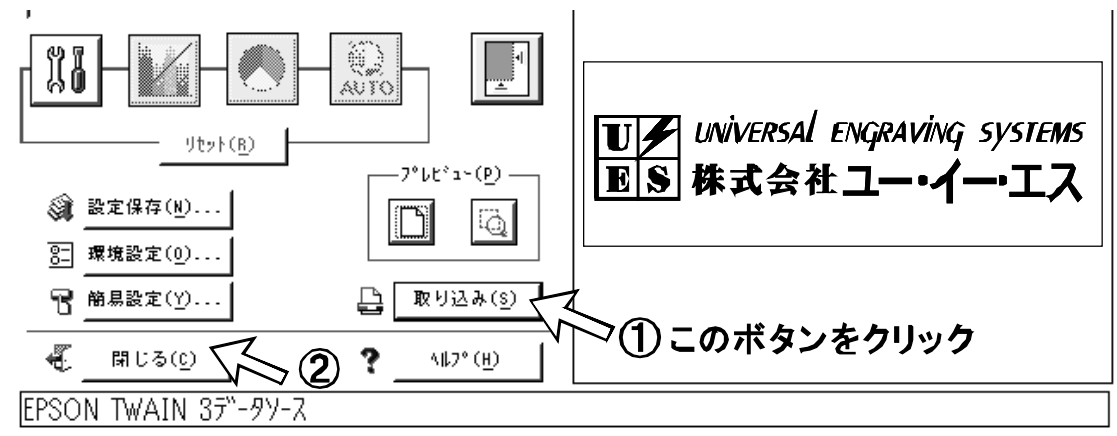


-  この絵をマウスの左ボタンを押しながら(ドラッグ)四角を描きます。この時、囲んだ余白があまり無い様に囲んでください。



6. 文字を四角で囲んだらプレビューのボタン  をクリックしてください。
囲んだ範囲が右側半分の画面に拡大表示されます。

取り込み(S) → このボタンを1回クリックする。



取り込みが終了しますと EPSON TWAIN データソースの画面の後ろに取り込んだ画面が表示されますので **閉じる(C)** をクリックしてください。



取り込み画面が表示されます



II. データの保存方法

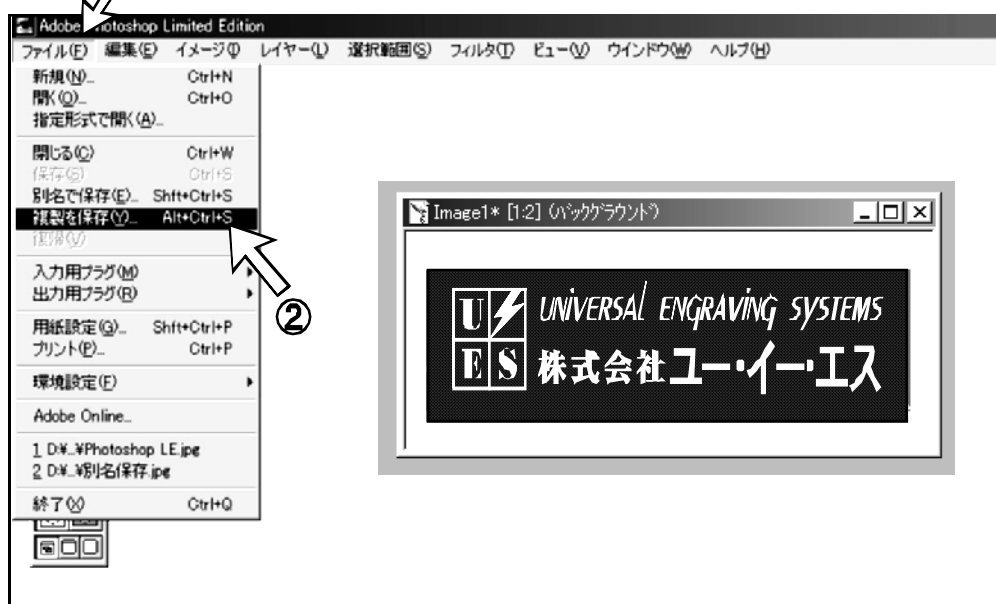
1. 取り込んだデータ-を保存する前に文字の白黒の反転を行います。
イメージ(I)→色調補正(A)→階調の反転(I)の順にクリックしてください。

文字の白黒反転



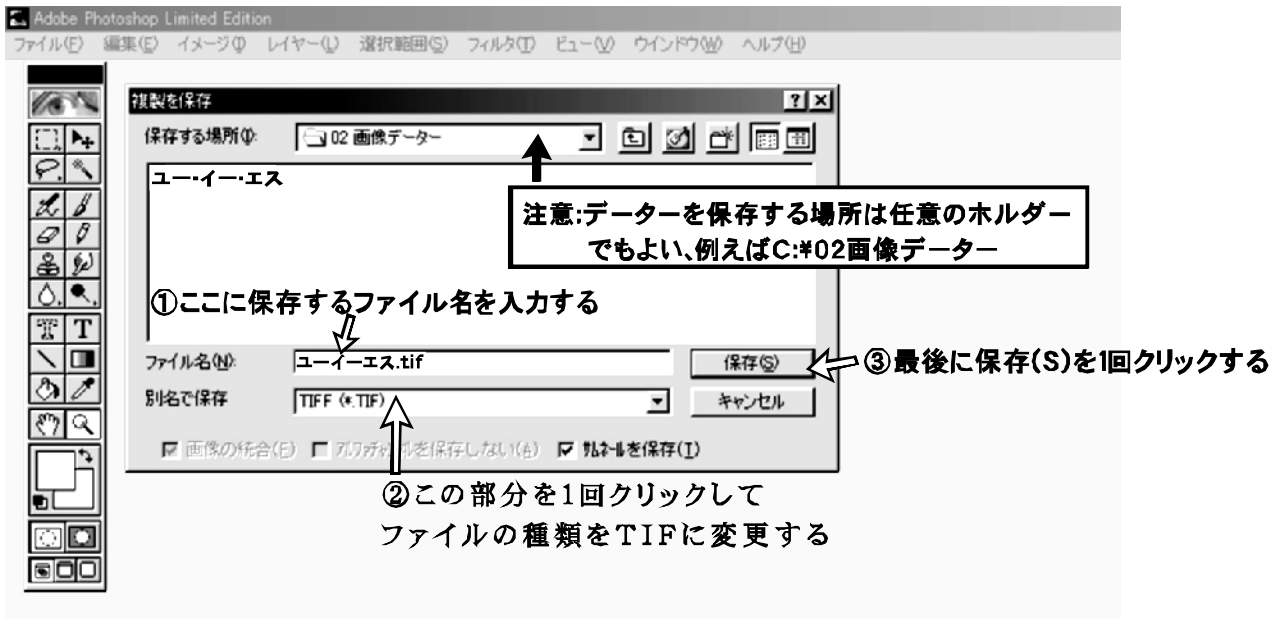
2. 取り込んだデータ-を保存するには、ファイル(F)→複製を保存(Y)の順にクリックしてください。

①ファイル(F)→②複製を保存(Y)を1回クリックする

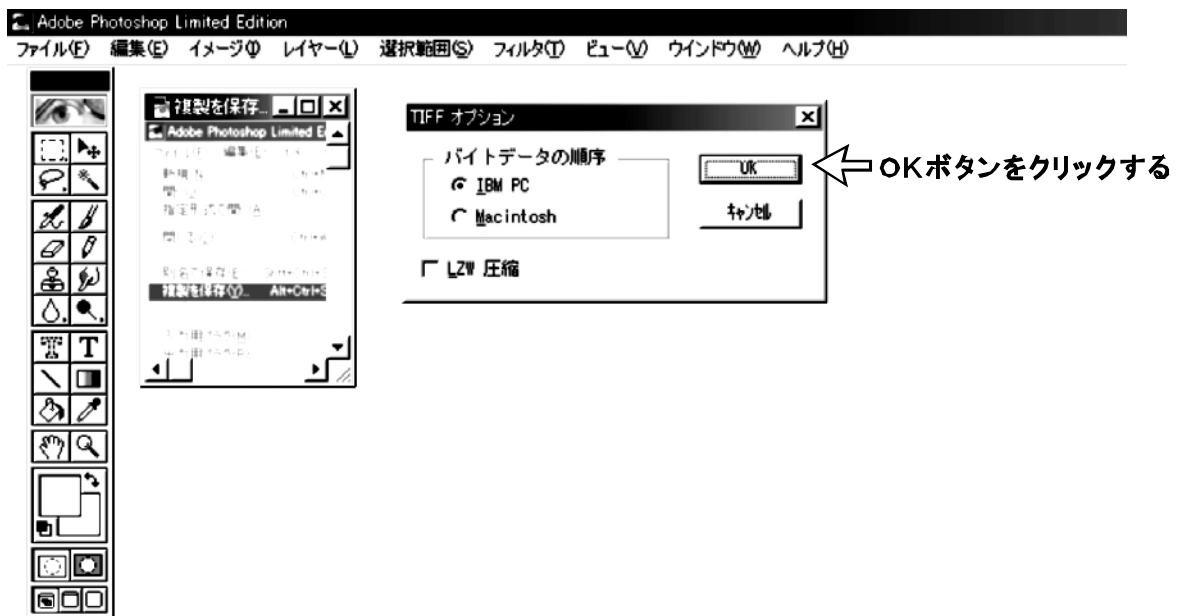


この画面が表示されます

3. データを保存する場所(フォルダー)の指定 → ファイル名を入力する
→ ファイルの種類をTIFに変更する → 保存(S)を1回クリックする。





4. TIFFオプションの画面が表示されたらIBM PCの欄にチェックが付いてるのを確認してOKボタンを1回クリックしてください。



III. データーの修正と終了の方法

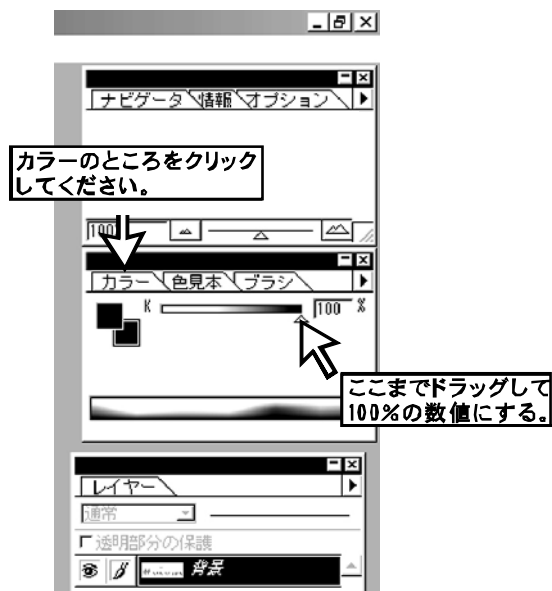
1. 取り込んだデータを修正するには画面左側にあるブラシツール  をクリックしてください。

画面中にブラシ  が表示されます、マウスの左ボタンを押すと白い塗りつぶし修正ができます。黒い塗りつぶし修正のときは右側のカラーのところを押して100%の数値にします。(下の左図参照)

*細かい修正個所の場合は拡大ツール  で表示を拡大します。画面を元元の大きさに戻すときは標準画面ツールを押します。

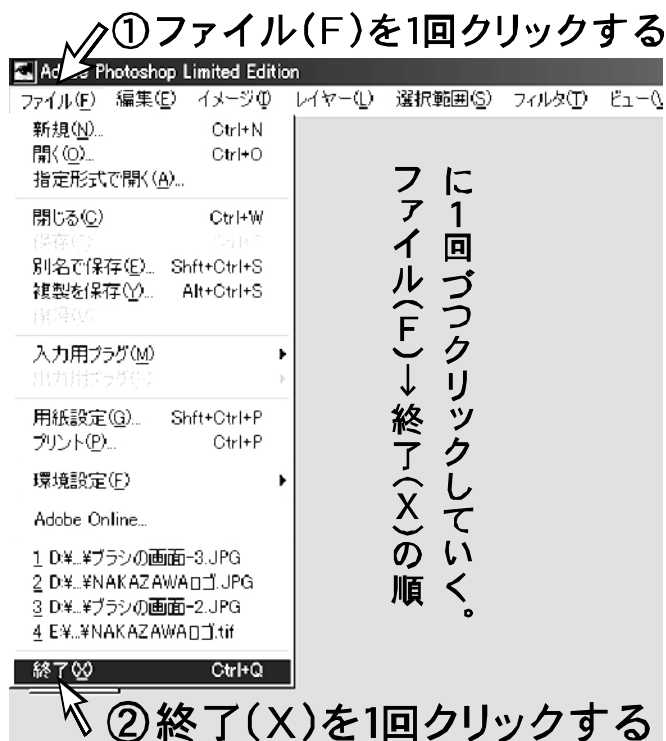


ブラシツールのカラー変更



ブラシツールのカラーが黒色に変更されます

Photo Shop LEの終了



IV.取り込んだデータの入力と保存

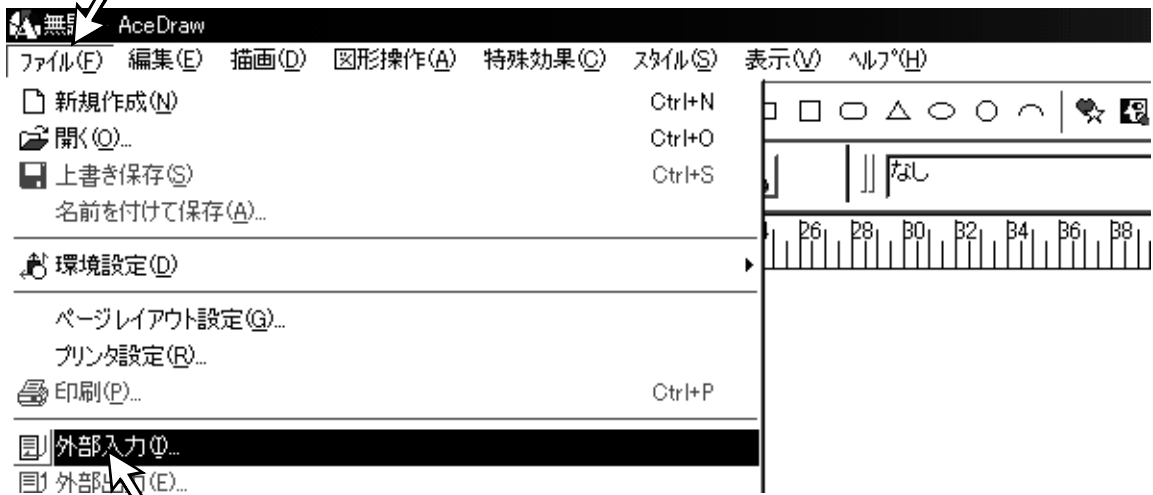
1.コンピュータの最初の画面に戻りますのでAceDrawの絵



の部分を経て2回クリック(ダブルクリック)してください。

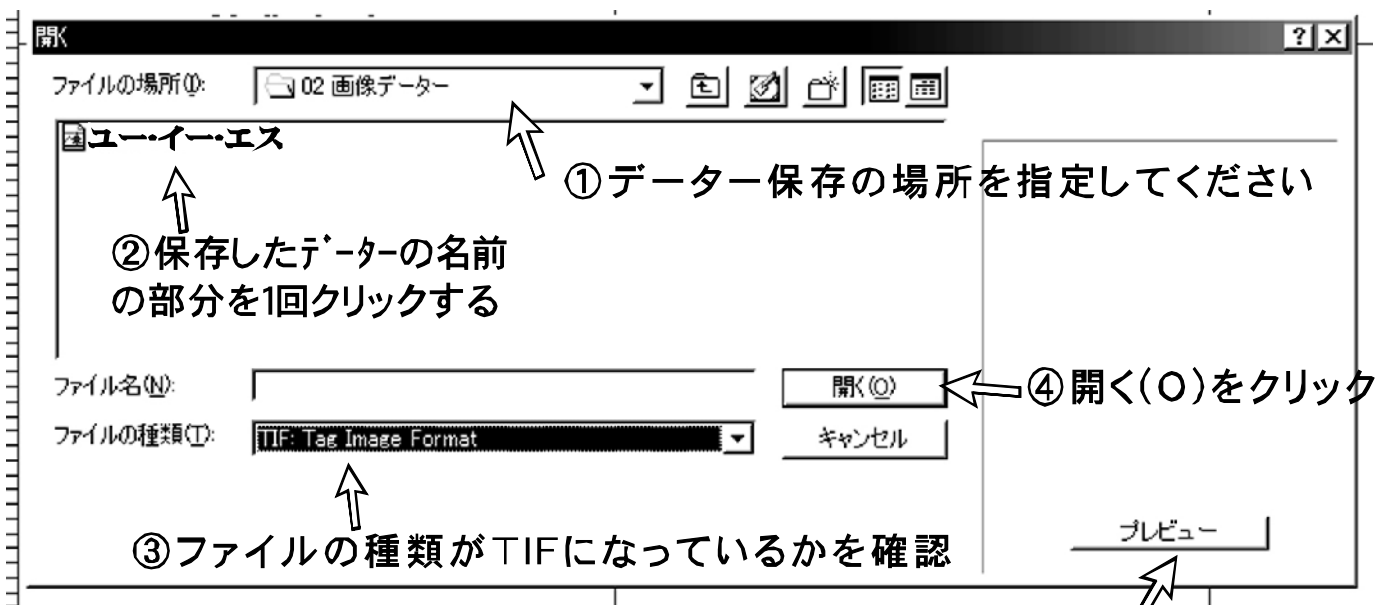
AceDrawの画面が表示されます。

①ファイル(F)を1回クリックする

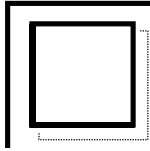


②外部入力(I)を1回クリックする

開く画面が表示されます。



*このボタンを押すと指定したファイルの内容を確認できます。

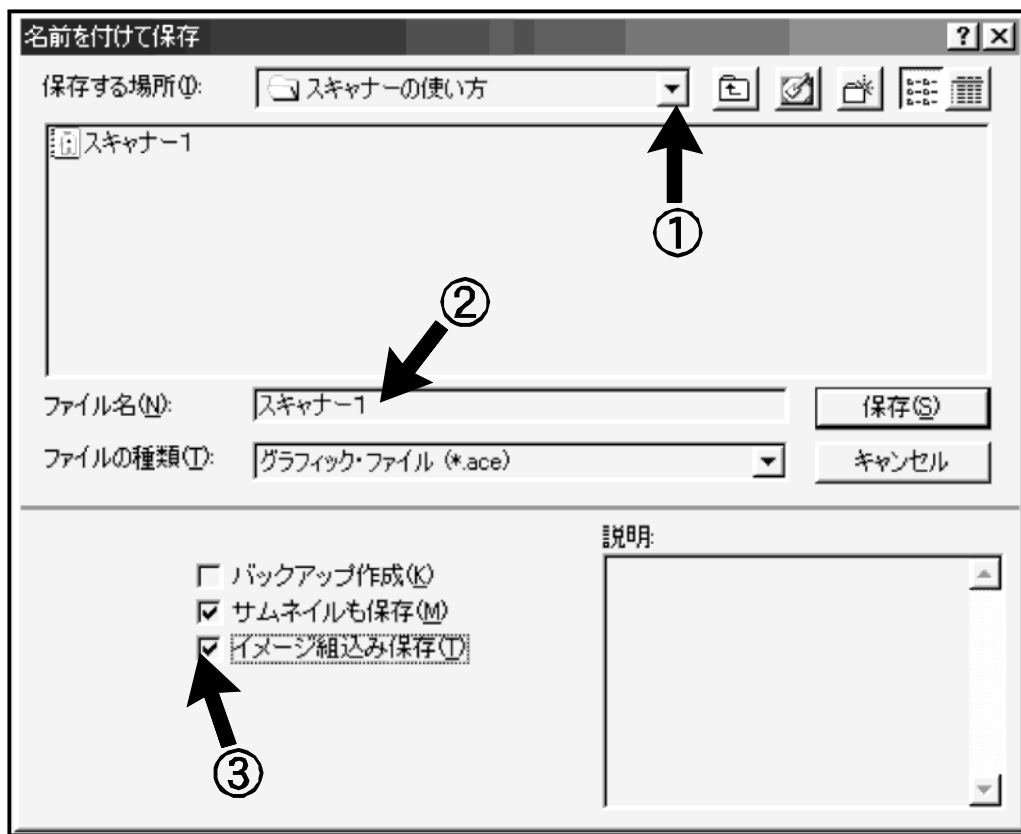


この図形がでてきたら、
軽く1回クリックしてください

注意 この時、クリックの場合はスキャナーで取り込んだ原寸の
大きさに出てきますが、ドラッグした状態ではドラッキング
して放した時の大きさ(拡大・縮小)に変形します。

2. 外部入力を取り込んだデータは配置・大きさを微調整してください。
最後にデータ全体を範囲指定してグループ化してください。

外部入力したデータの保存方法



3. 外部入力して作成したデータを保存するには、ファイル(F)→
名前を付けて保存(保存先の指定とファイル名の入力)→ イメー
ジ組み込み保存(T)の順にクリックしてください

注意 保存するときに イメージ組み込み保存(T)にチェックマークが
付いていないとファイルを開くとき外部入力画像が表示できな
い場合があります。 *E-ストロー・ユーザーガイド P33参照。